

平成23年度

県民健康・栄養調査結果の概要

(平成22、23年国民健康・栄養調査との比較を含む)



平成25年1月

沖縄県福祉保健部

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象及び客体	1
3	調査項目	2
4	調査時期	2
5	調査方法	2
6	調査系統	2
II	結果の概要	3
第1部	身体の状況	3
1	体型の状況（成人）	3
第2部	生活習慣状況	
1	朝食の状況	5
2	夕食時間（15歳以上）	7
3	夕食後の飲食（15歳以上）	8
4	運動習慣（20歳以上）	9
5	飲酒状況（20歳以上）	10
6	喫煙状況（20歳以上）	12

第3部 栄養摂取状況

1 エネルギー摂取量及びエネルギー比率	14
2 野菜摂取量（20歳以上）	16
3 食塩摂取（20歳以上）	17

第4部 内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病の有病者・予備群の数

1 BMIと腹囲計測による肥満者の状況（40歳以上）	19
2-1 メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群） 該当者・予備群の状況（40歳以上）	21
2-2（参考）メタボリックシンドローム該当者・予備群（20歳以上）	23
3 糖尿病有病者・予備群の状況（40歳以上）	24
4 高血圧症有病者・予備群の状況（40歳以上）	26
5 脂質異常者の状況（40歳以上）	28

■平成23年度 県民健康・栄養調査結果概要

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、県民の身体の状況、栄養摂取量及び生活習慣の状況を把握し、県民の総合的な健康増進対策を推進するための基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査対象及び客体

全県下の世帯及び世帯員を対象とし、平成22年及び平成23年国民生活基礎調査より設定された地区（当該地区は平成17年国勢調査による全地区より無作為抽出）から無作為に抽出した50単位区内の世帯及び世帯員（平成23年11月1日現在で満1歳以上の者）を調査客体とした。

なお、栄養摂取状況調査のみ、上記50単位区内のうち30単位区内の世帯及び世帯員を調査客体とした。

集計客対数 I（総計）

項目	世帯数	調査対象総数	栄養摂取状況調査	身体状況調査	血液検査	歩行数	口腔内状況調査	生活習慣調査
集計数	728	2,163	1,110	1,351	730	1,089	750	1,588

集計客対数 II（性別、年齢別及び調査種別ごとの集計）

総数 調査客対数(栄養及び生活習慣)

年齢階級	総数	1-6歳	7-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	再掲 40-74歳
栄養摂取状況	1,110	73	84	66	86	124	125	175	164	213	525
生活習慣	1,588	—	—	106	157	222	203	285	280	335	875

男性

年齢階級	総数	1-6歳	7-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	再掲 40-74歳
栄養摂取状況	548	33	41	36	45	60	61	91	86	95	268
生活習慣	761	—	—	55	85	98	97	135	147	144	436

女性

年齢階級	総数	1-6歳	7-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	再掲 40-74歳
栄養摂取状況	562	40	43	30	41	64	64	84	78	118	257
生活習慣	827	—	—	51	72	124	106	150	133	191	439

3 調査項目

(1) 身体状況調査

- ア 身長、体重（満1歳以上）
- イ 腹囲（満15歳以上）
- ウ 血圧（満15歳以上）
- エ 血液検査（満15歳以上）
- オ 1日の運動量〈歩行数〉（満15歳以上）
- カ 口腔内状況調査
- キ 問診〈服薬状況〉（満20歳以上）
〈運動習慣〉（満15歳以上）

(2) 栄養摂取状況調査（満1歳以上）

食品及び栄養素の摂取量

(3) 生活習慣調査（満15歳以上）

食生活、身体活動・運動、休養・ストレス、飲酒、タバコ、健診受診状況、歯の健康管理等、健康に関する生活習慣

4 調査時期

(1) 身体状況調査：平成23年10月中旬～12月上旬

(2) 栄養摂取状況調査：平成23年10月中旬～12月上旬の特定の1日（日曜及び祝祭日を除く）

(3) 生活習慣調査：栄養摂取状況調査と同日を原則（被調査者の都合を考慮し平成23年10月中旬～12月上旬の調査期間内も可）

5 調査方法

(1) 身体状況調査

調査会場に会場した対象者に対し、調査員（医師、歯科医師、管理栄養士、保健師等）が調査項目の計測及び問診を実施。

(2) 栄養摂取状況調査

調査対象者が行った摂取食品の秤量記録に基づき、調査員が家庭訪問を行い、調査票の回収及び確認を行った。

(3) 生活習慣調査

自己記入方式の調査票（アンケート）を配布し、調査員が家庭訪問を行い、回収及び確認を行った。

6 調査系統

沖縄県（本庁）— 県保健所— 県民健康・栄養調査員

Ⅱ 結果の概要

第1部 身体状況

1 体型の状況（成人）

肥満者の割合は、男女とも全年齢で全国より高くなっている。
 男性は、20歳代から3割を超えており、40～50歳代では5割を超えている。
 女性は、年齢が上がるにつれて肥満者の割合は高くなり、60歳代以降では4割を超えている。一方で20歳代の2割近くが低体重（やせ）となっている。

肥満者の割合は、男性は30歳代以降の世代で40%を超えており、女性は年齢階級が上がるにつれて高くなっており、男女とも全ての年齢階級で全国より高い。
 女性の低体重（やせ）の者の割合は、20歳代で17.9%となっている。
 平成18年度と比べると、男性は40歳～50歳代で増加しており5割を超えている。
 女性は、20歳～40歳代の若い世代で肥満者が増加している一方で、20歳代の低体重（やせ）の割合も増加している。

図1 肥満者（BMI ≥ 25）の割合（20歳以上）

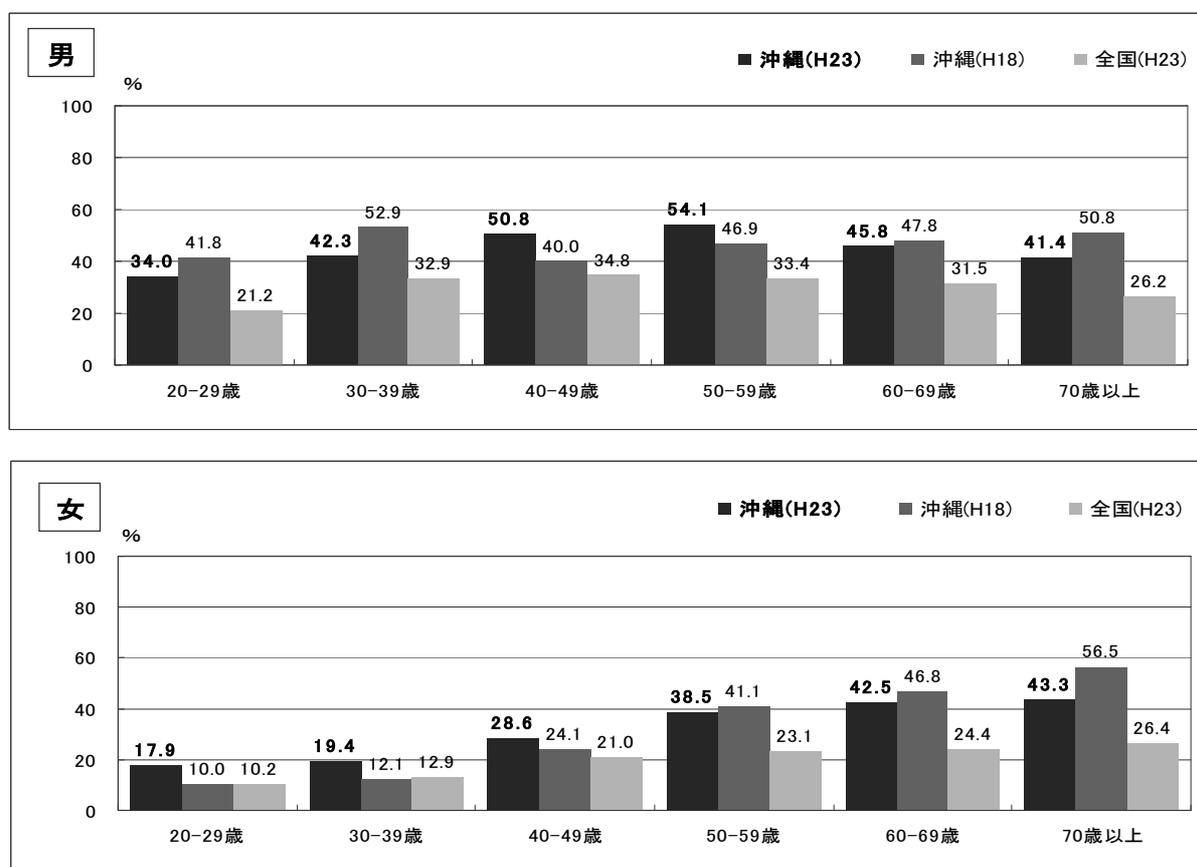
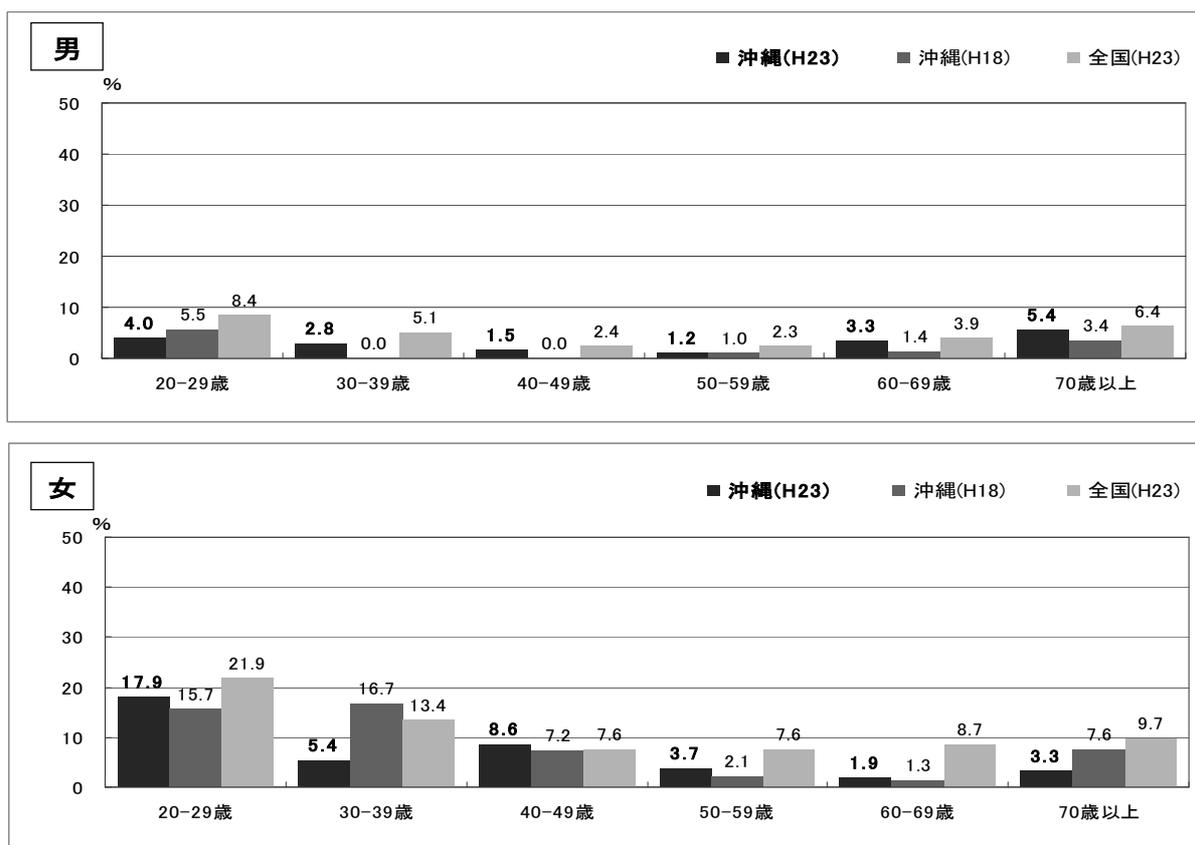


図2 低体重（やせ）の者（BMI < 18.5）割合（20歳以上）



<肥満度：BMI（Body Mass Index）を用いて判定>

$BMI = \text{体重 [kg]} / (\text{身長 [m]}^2)$ により算出

BMI < 18.5 低体重（やせ）

$18.5 \leq BMI < 25$ 普通体重（正常）

BMI ≥ 25 肥満

<日本肥満学会肥満症診断基準検討会2000年>

第2部 生活習慣の状況

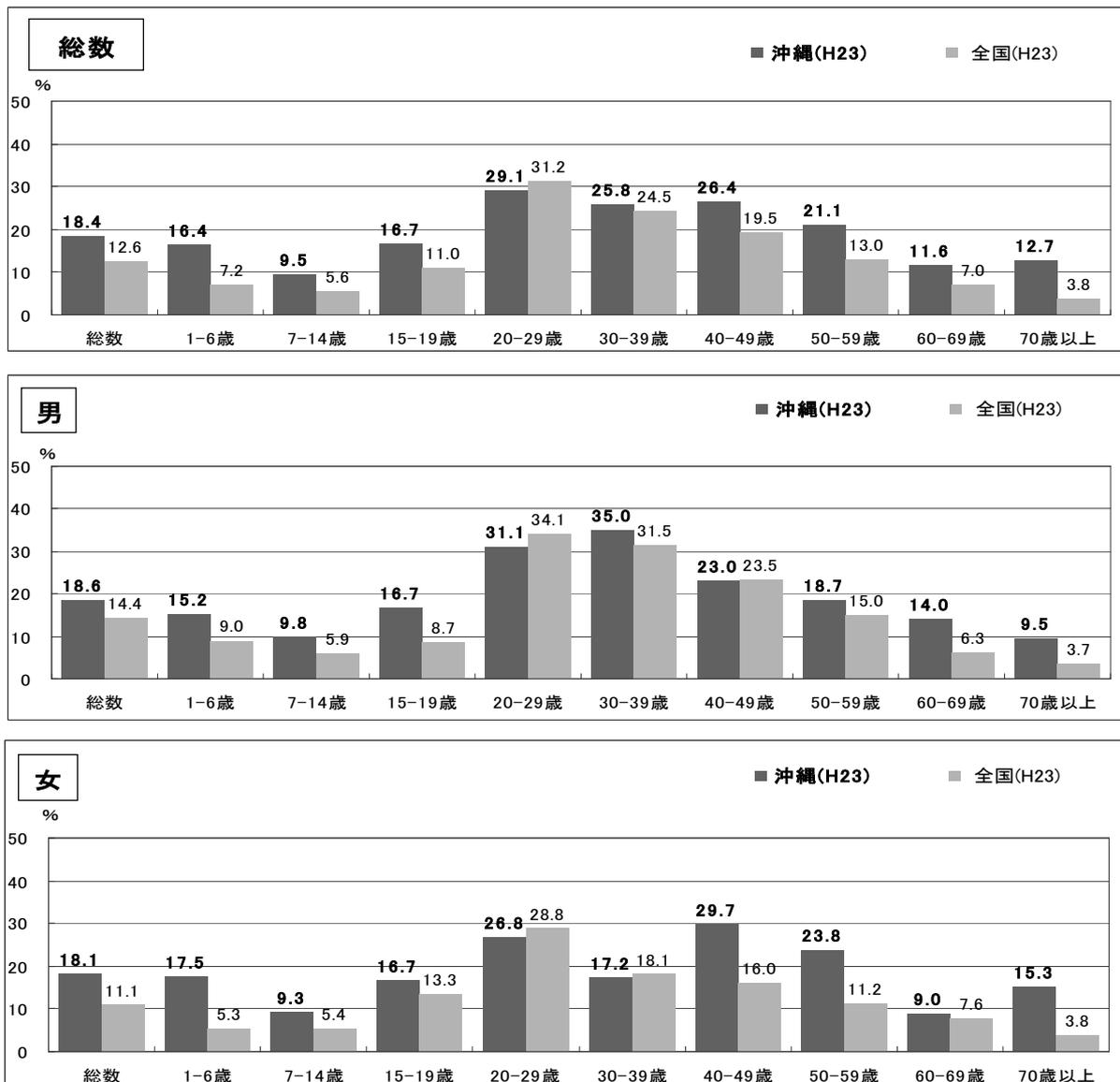
1 朝食の状況

朝食の欠食率は、男性の20～30歳代で3割を超え、女性の20歳、40歳代で3割近くとなっている。

朝食の欠食率は、男性は30歳代で最も高く35.0%、女性は40歳代で最も高く29.7%となっている。

また、男女とも20歳未満においても全国と比べ高くなっており、1～2割近くの者が朝食を欠食している。

図3 朝食の欠食率（1歳以上）



欠食とは、次の3つのいずれかに該当する場合をいう。

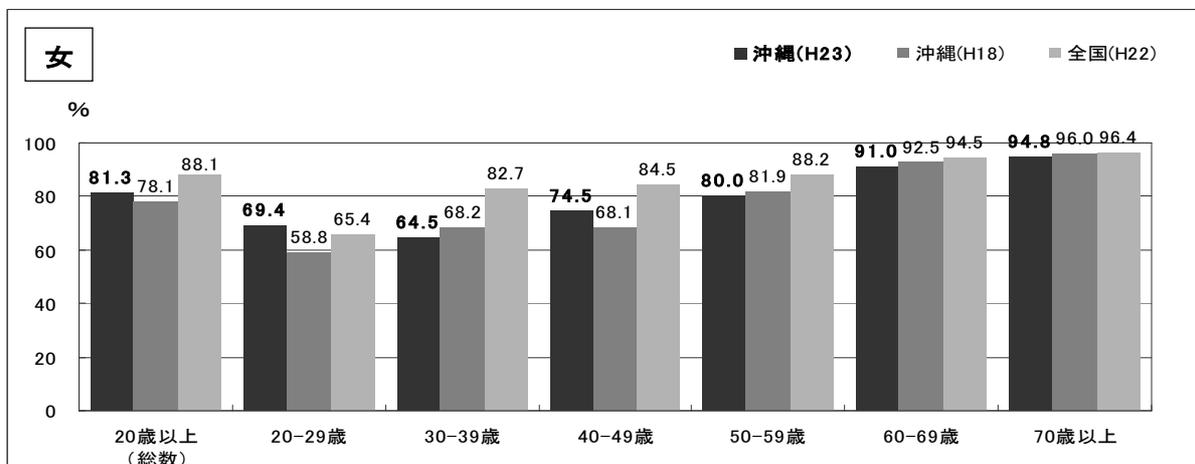
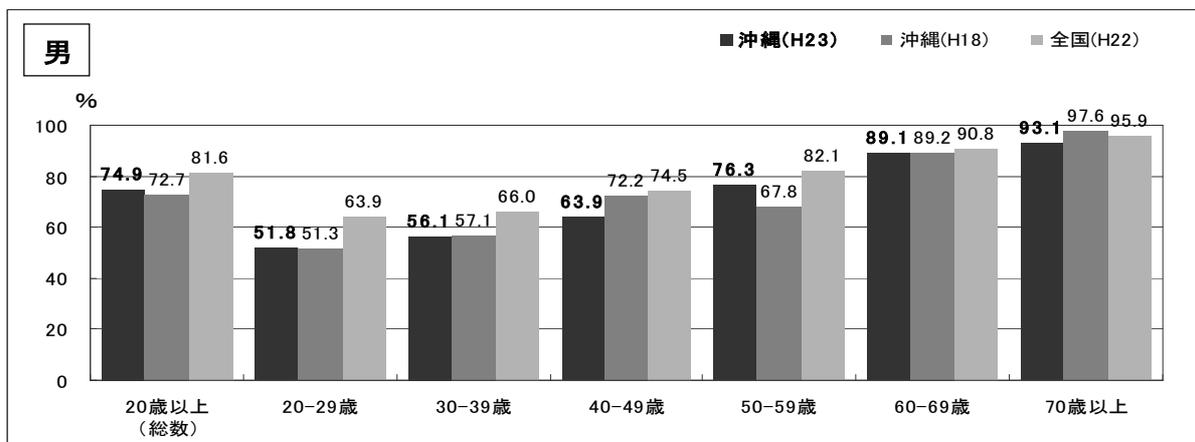
- ①何も食べない（食事をしなかった場合）、
- ②菓子、果物、乳製品、嗜好飲料などの食品のみ食べた場合
- ③錠剤、カプセル、顆粒状のビタミン・ミネラル、栄養ドリンク剤のみの場合

ふだんの朝食を「ほとんど毎日食べる」と回答した者の割合は、男女とも年齢階級が上がるにつれて高くなり、全体で7割を超えているが。

一方、男性の20～30歳代では5割強で、2人に1人は普段から朝食を欠食している。

朝食の摂取頻度の状況については、「ほとんど毎日食べる」と回答した者は、男性の20歳代で51.8%、30歳代で56.1%であり、男女とも40歳代以降から高くなる傾向である。平成18年度と比較すると、20歳以上総数で男性2.2ポイント、女性3.2ポイント増加しているが、全国と比較すると男女ともに低くなっている。

図4 ふだんの朝食を「ほとんど毎日食べる」と回答した者の割合（20歳以上）



2 夕食時間（15歳以上）

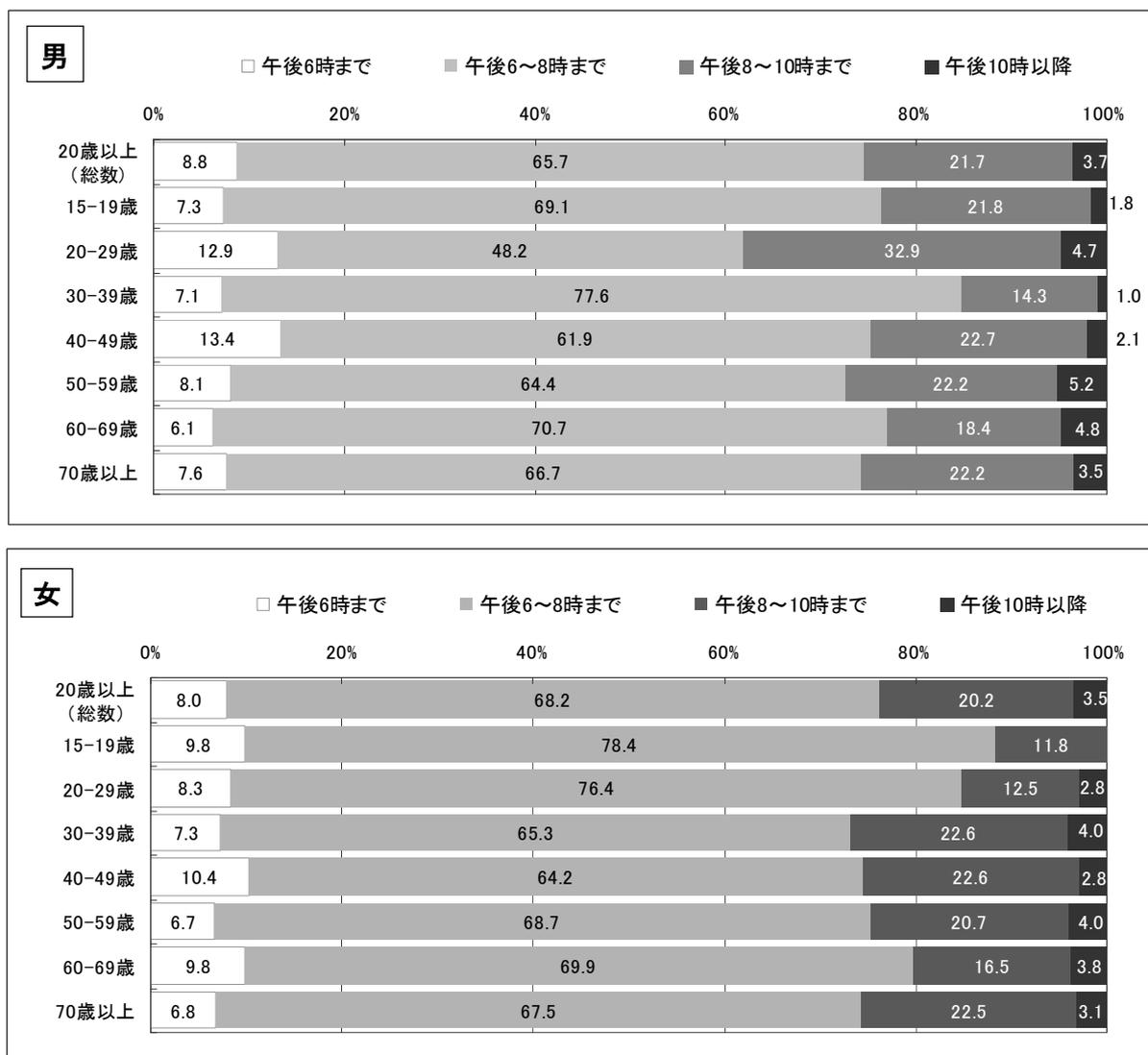
午後8時までに夕食をすませることができる者の割合は、男女とも7割を超えているが、男性の20歳代では約6割となっている。

夕食を午後8時までにすませることができる者の割合は、20歳以上総数で男性74.5%、女性76.2%となっている。

午後10時以降に夕食をとる者は、男性の20歳代と50～60歳代で約5%、女性は20歳代以降全ての世代で3～4%となっている。

平成18年度と比べると、夕食を午後8時までにすませることができる者は、男女とも15-19歳～50歳代で増加しており、特に男性の30歳代で54.9%から84.7%、女性の15-19歳で55.3%から88.2%、20歳代で61.9%から84.7%となっている。

図5 夕食時間（15歳以上）

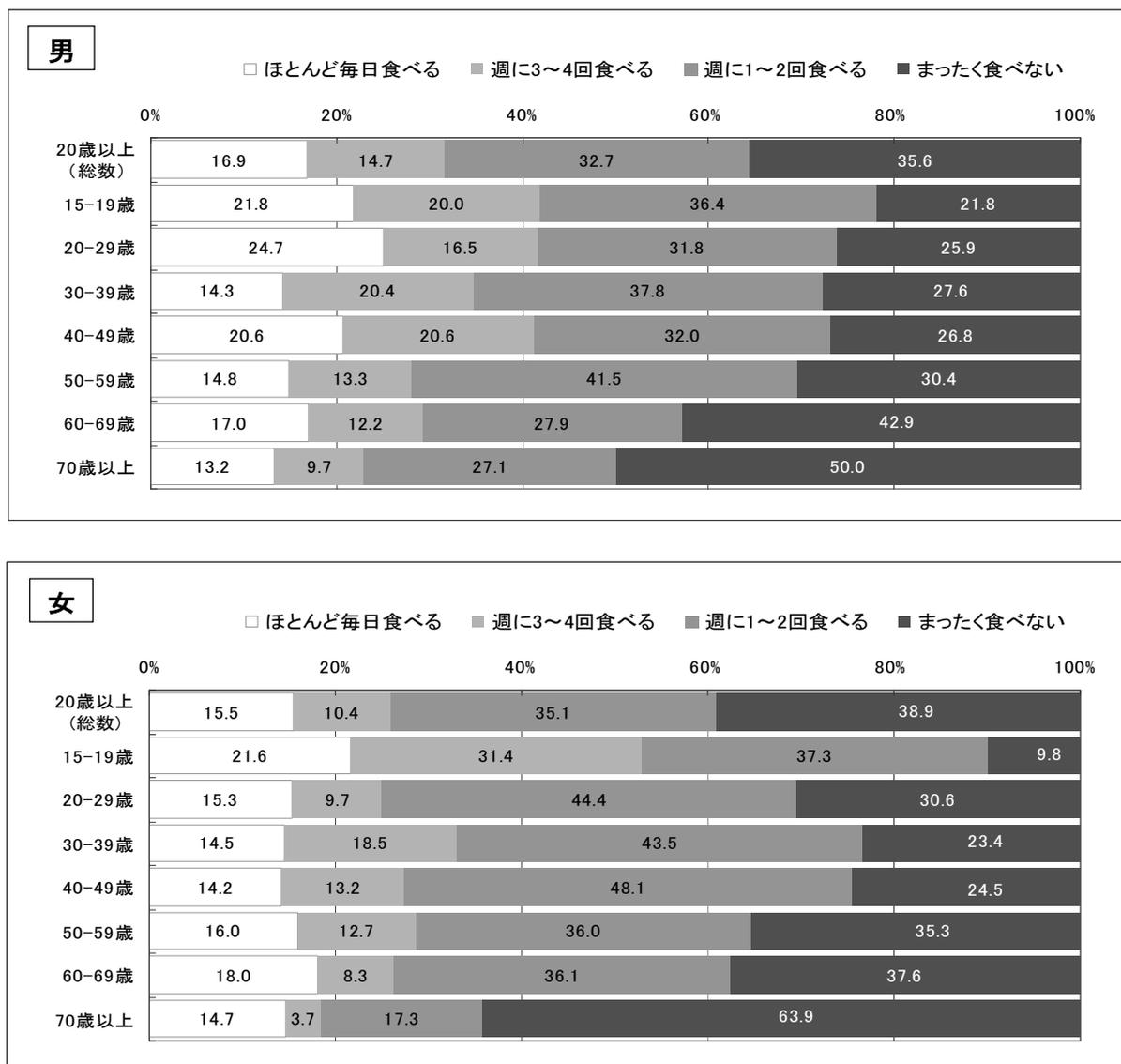


3 夕食後の飲食（15歳以上）

夕食後の飲食は「ほとんど毎日食べる」「週3～4回食べる」が、男性は15-19歳、20歳代及び40歳代で4割となっている。女性は、15-19歳で5割を超えている。

夕食後の飲食については、「ほとんど毎日食べる」「週に3～4回食べる」が成人では男性20歳代及び40歳代が高くとも41.2%、女性は30歳代が高く33%となっている。

図6 夕食後の飲食（15歳以上）



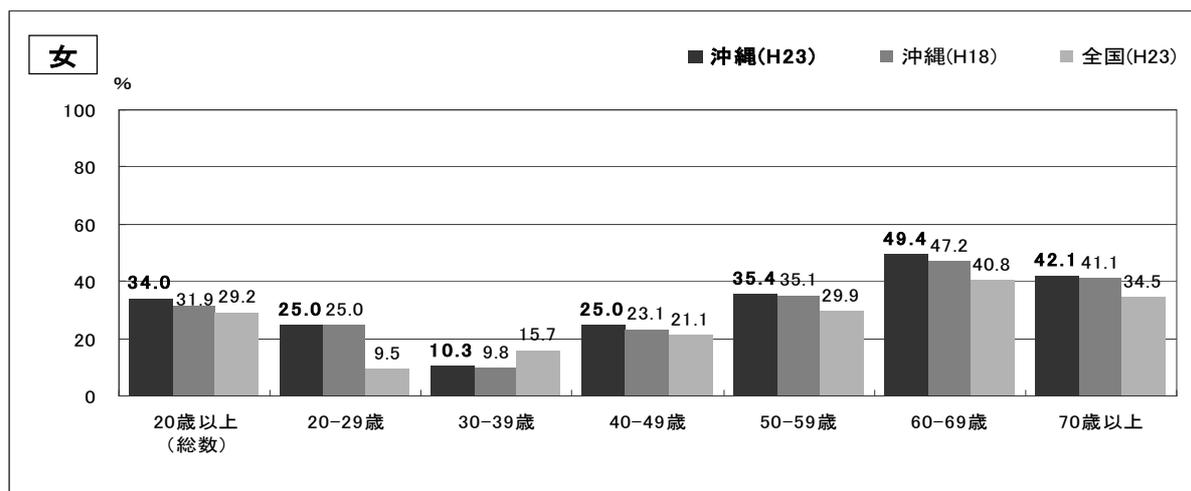
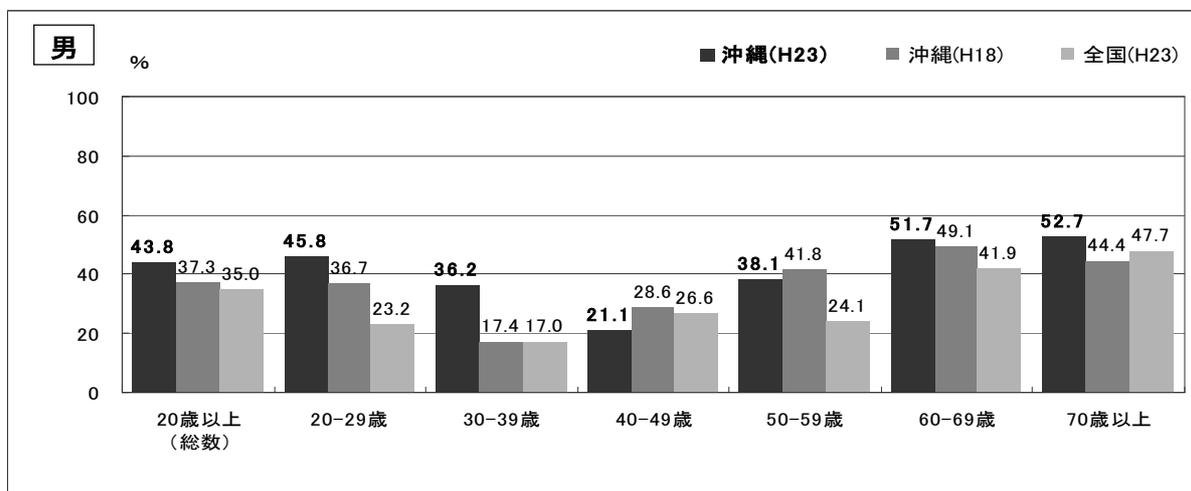
4 運動習慣（15歳以上）

運動習慣のある者の割合は、男性で4割強、女性で3割強となっている。
 運動習慣のある者の割合が最も低いのは、男性は40歳代で約2割、女性は30歳代で約1割となっている。

運動習慣のある者の割合は、男女とも60歳代以降で高く、男性の20～30歳代と女性の20歳代では全国と比べ2倍近くになっている。

平成18年度と比べると、成人（20歳以上）の運動習慣のある者の割合は、男性で6.5ポイント、女性で2.1ポイント高くなっており、男女とも全国平均を上回っているが、一方で運動習慣のない者の割合も男性の5割強、女性の6割強いる。

図7 運動習慣のある者の割合（20歳以上）



<運動習慣のある者>
 1回30分以上の運動を週2日以上実施し、1年以上継続している者

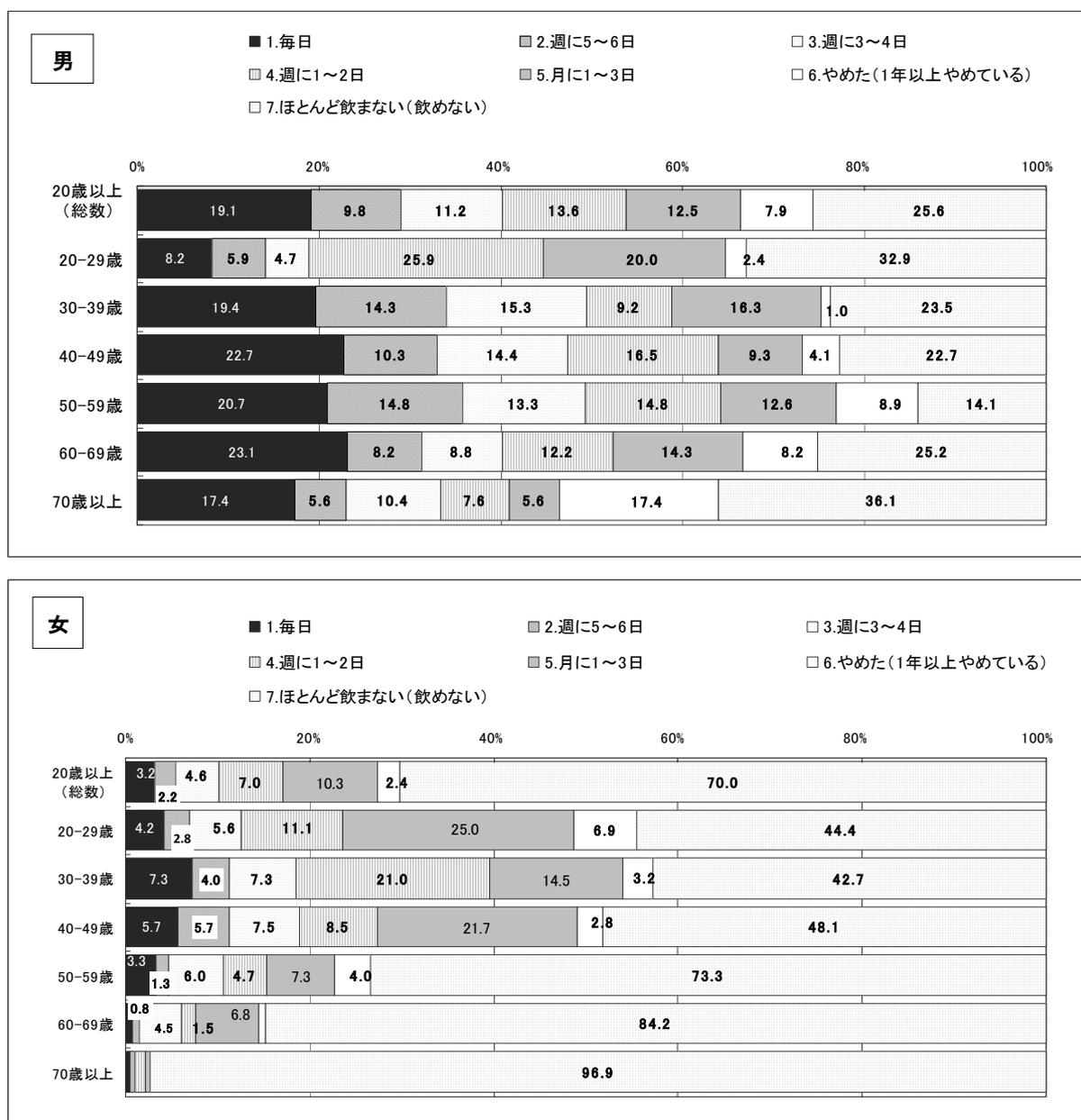
5 飲酒状況（20歳以上）

「毎日飲酒する者」「週5～6日飲酒する者」が、男性の30～60歳代で約3割を超えており、女性の30～40歳代で1割を超えている。

「毎日飲酒する者」は、男性で60歳代が最も高く23.1%、続いて40歳代で22.7%となっている。女性は30歳代が最も高く7.3%、続いて40歳代で5.7%となっている。

「週5～6日飲酒する者」は、男性で50歳代が最も高く14.8%、続いて30歳代で14.3%となっている。女性は40歳代で最も高く5.7%、続いて30歳代で4.0%となっている。

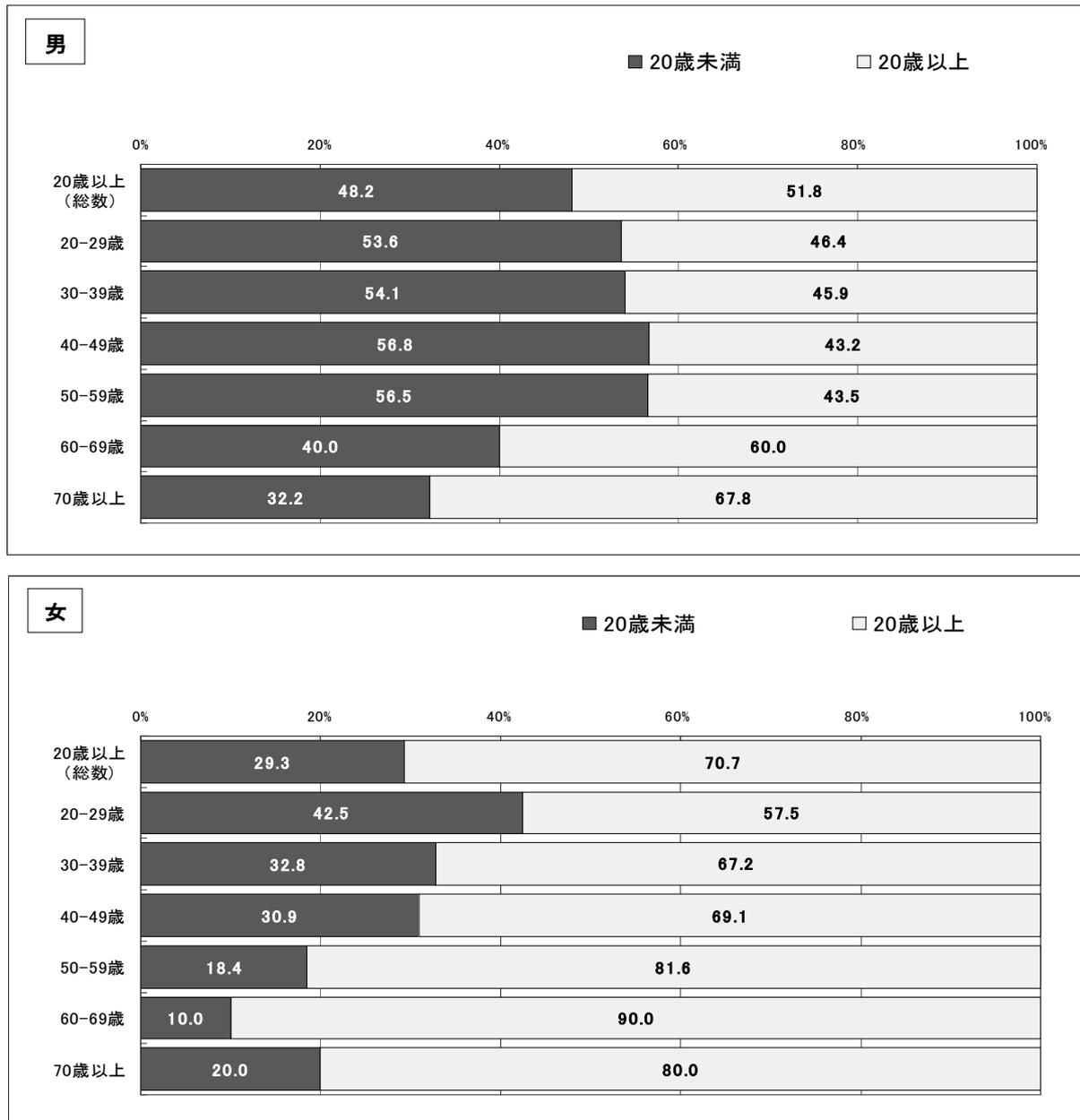
図8 飲酒状況（20歳以上）



20歳未満で初めて飲酒した者（少量の試しの飲みは除く）の割合は、男性で2人に1人、女性で3.5人に1人となっている。

※20歳未満での時期に飲酒経験があるか否かを質問した結果である。

図9 初回飲酒年齢（20歳以上を対象に調査）



※70歳以上の女性の回答数は7名であった。

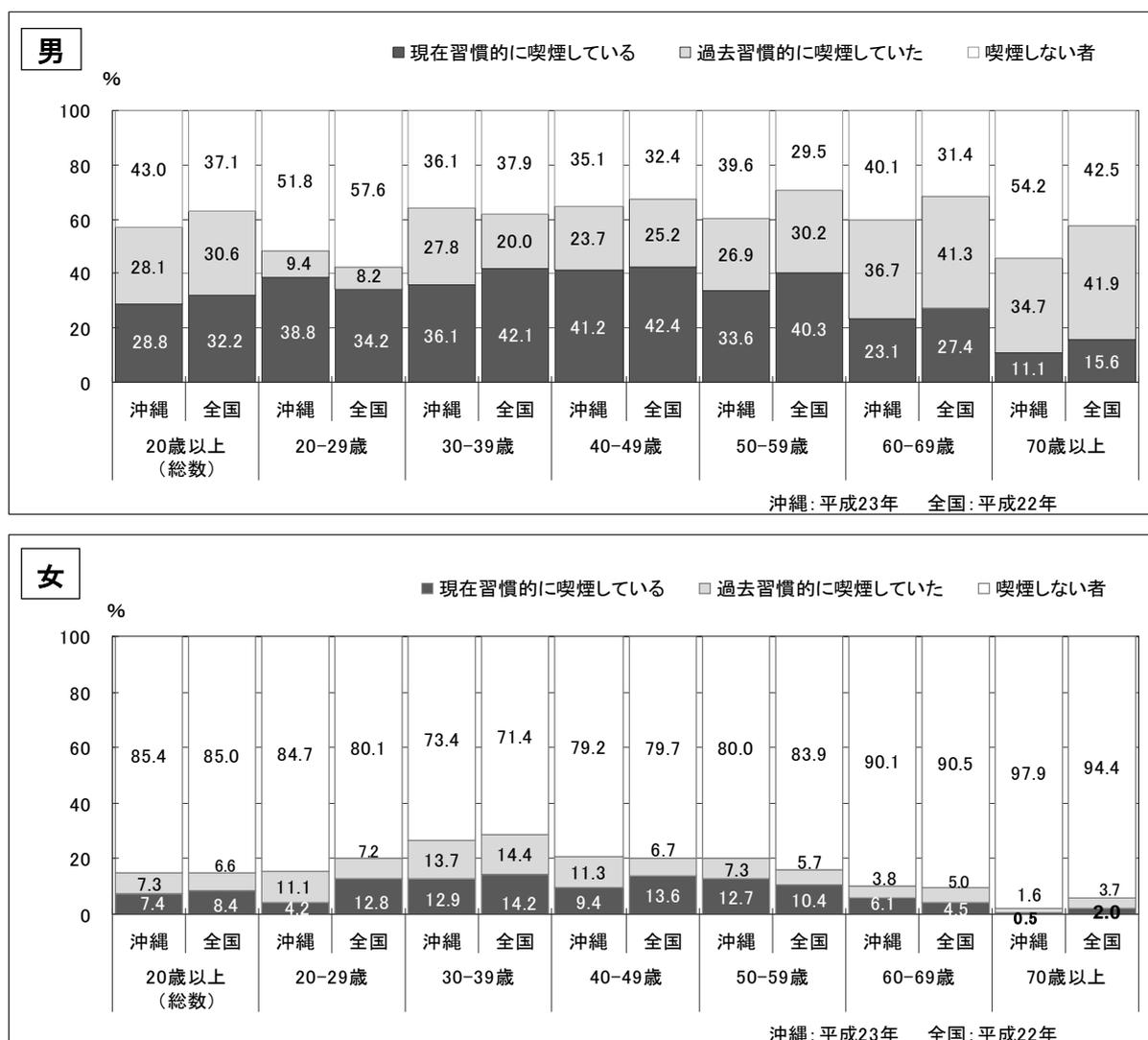
6 喫煙状況（20歳以上）

現在習慣的に喫煙している者の割合は、男性3割弱、女性1割弱で男女ともに全国平均を下回っている。年齢階級別では、男性は40歳代が最も高く4割を超えている。女性は30歳代が最も高く1割を超えている。

現在習慣的に喫煙している者の割合は、男性は40歳代が最も高く41.2%、続いて20歳代で38.8%でこの年代のみ全国を上回っている。

女性は、30歳代が最も高く12.9%、続いて50歳代で12.7%となっている。

図10 喫煙の状況（20歳以上）



<現在習慣的に喫煙している者>

これまで合計100本以上又は6ヶ月以上たばこを吸っている（吸っていた）者のうち、「この1ヶ月間に毎日又は時々たばこを吸っている」と回答した者

<過去習慣的に喫煙していた者>

これまで合計100本以上又は6ヶ月以上たばこを吸っている（吸っていた）者のうち、「この1ヶ月間にたばこを吸っていない」と回答した者

<喫煙しない者>

「まったく吸ったことがない」又は「吸ったことはあるが、合計100本未満又は6ヶ月未満である」と回答した者

第3部 栄養摂取状況

1 エネルギー摂取量及びエネルギー比率

エネルギー摂取量の平均値は、男女ともに全国平均を下回っている。

一方で、脂肪からのエネルギー摂取は30%以上の者の割合が男性で3割強、女性で約4割で、男女ともに全国平均を約10ポイント上回っている。

エネルギー摂取量の平均は、全ての年代で全国平均を下回っているが、脂肪からのエネルギー摂取が30%以上の者は、成人の男性で32.2%、女性で39.2%で、全国と比較して男女ともに約10ポイント上回っている。

脂肪エネルギー比率の適正範囲である25%未満の者は、男性40.9%、女性33.6%にとどまっており、男性の5人に3人、女性の3人に2人は適正範囲を超えている。

年齢階級別では、60歳代以降では4～5割が25%未満となっているが、男性の50歳代と女性の40～50歳代では3割弱となっている。また、性別では男性より女性の方が30%以上の者が多くなっている。

図11 エネルギー摂取量の平均値（20歳以上）

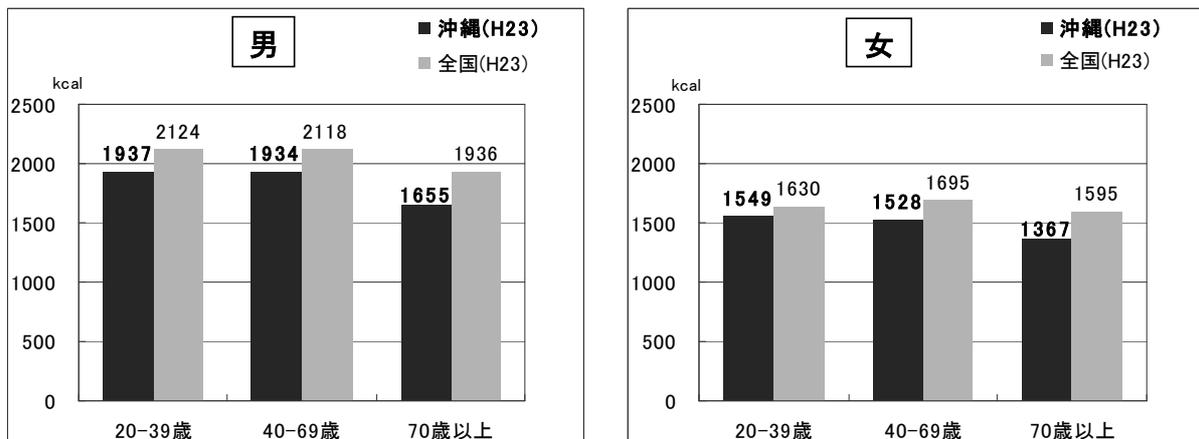


図12 脂肪エネルギー比率の分布（20歳以上）

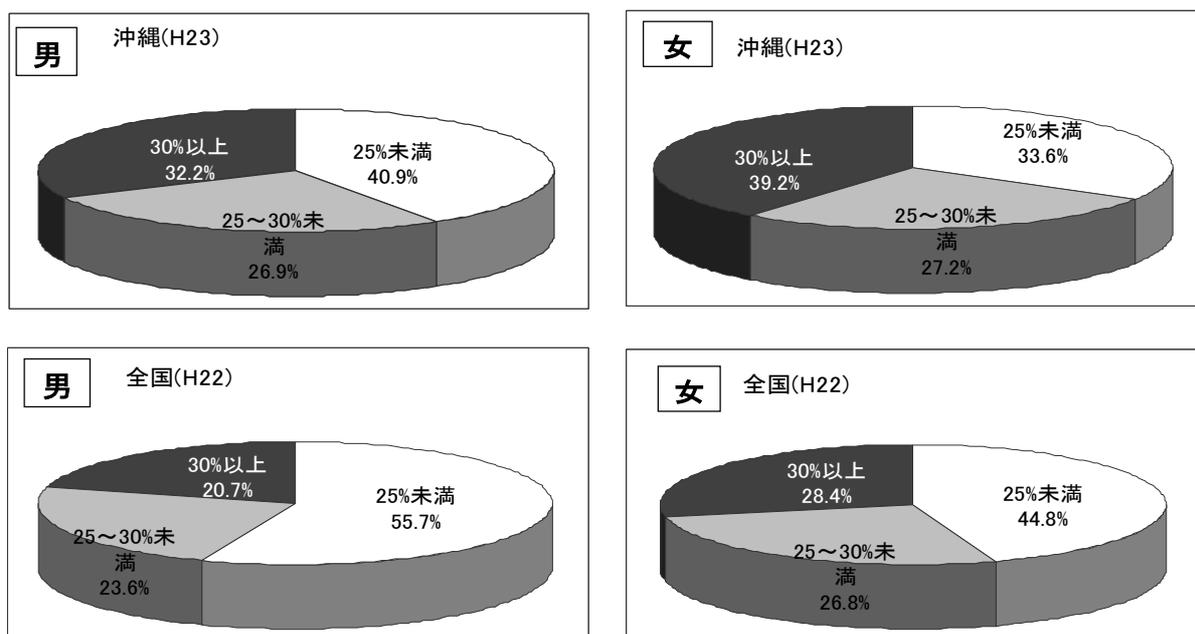
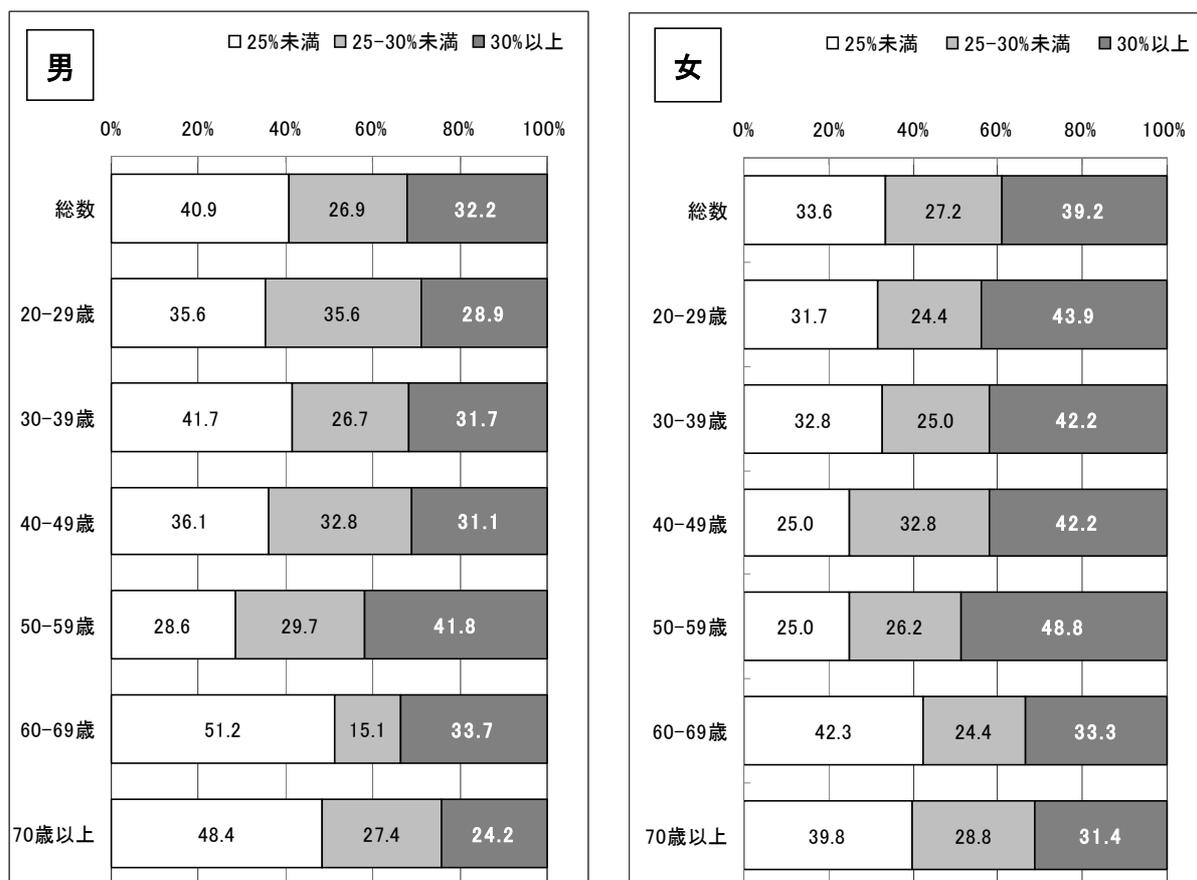


図13 年齢階級別脂肪エネルギー比率の分布（20歳以上）



2 野菜摂取量（20歳以上）

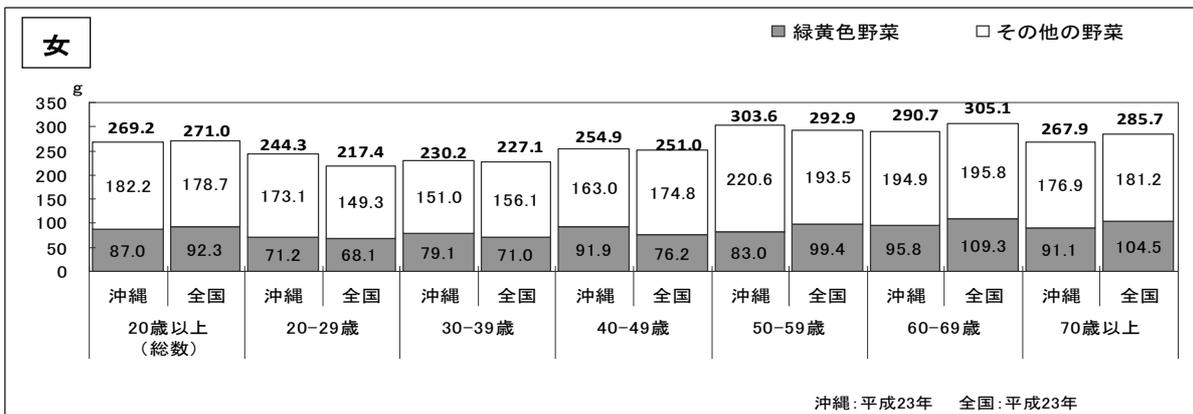
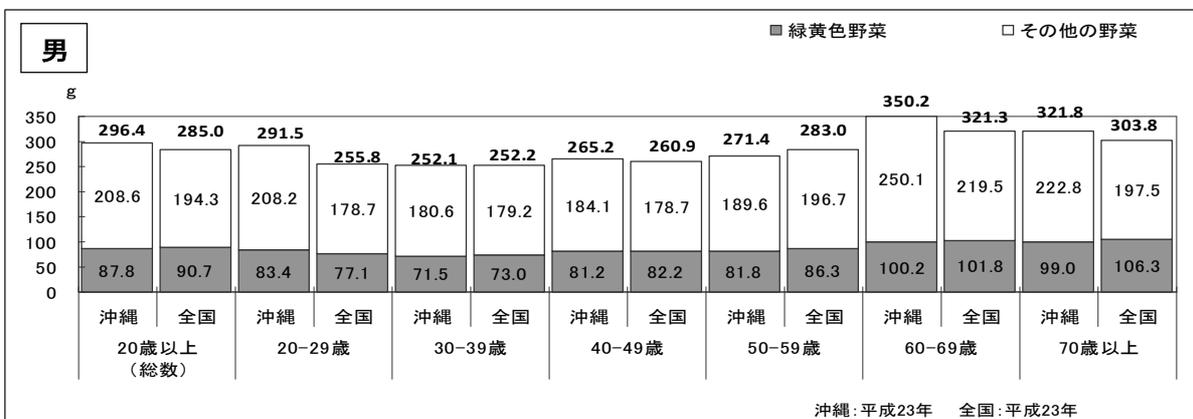
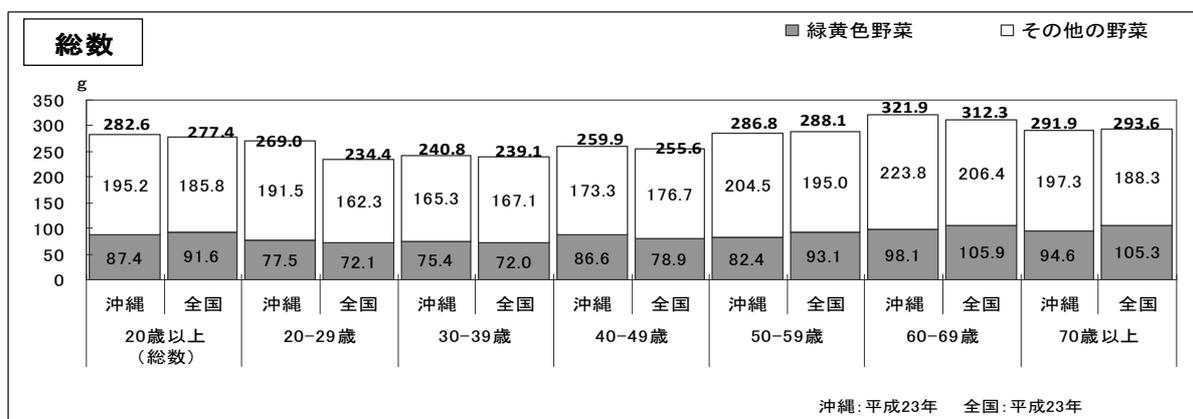
野菜摂取量は、男女ともに年齢階級が高くなるにつれ多くなっているが、推奨量の350gを摂取しているのは、男性の60歳代のみとなっている。

また、男女とも30歳代で摂取量が最も少なくなっている。

野菜の平均摂取量は、男性が全国をやや上回り、女性は全国並みとなっているが、緑黄色野菜では、男女とも全国よりやや少なくなっている。

また、男女ともに年齢階級が低い層で摂取量が少なく、特に女性の30歳代では230.2gで推奨量350gの3分の2の摂取となっている。

図14 野菜摂取量の平均値（20歳以上）



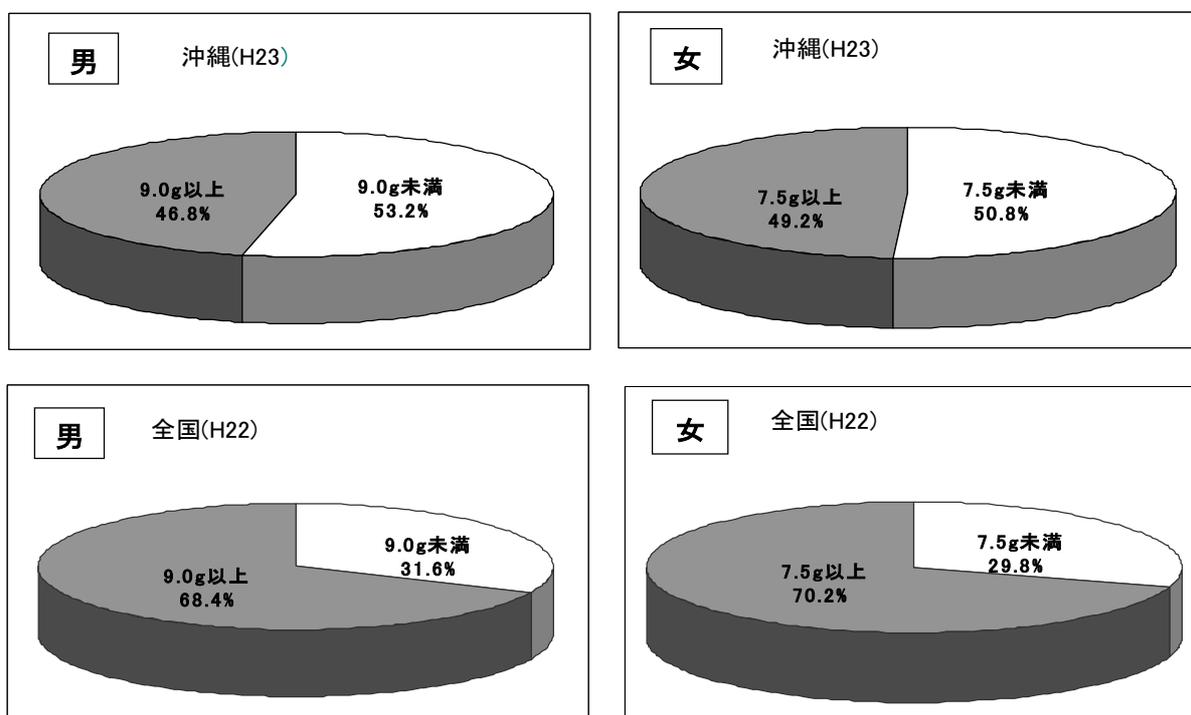
3 食塩摂取（20歳以上）

食塩摂取量は、目標摂取量未満の者の割合が男女とも5割を超えており、全国を大きく上回っている。

成人（20歳以上）の食塩摂取量は、目標摂取量（男性9g、女性7.5g）未満の者は、男性53.2%、女性50.8%となっている。

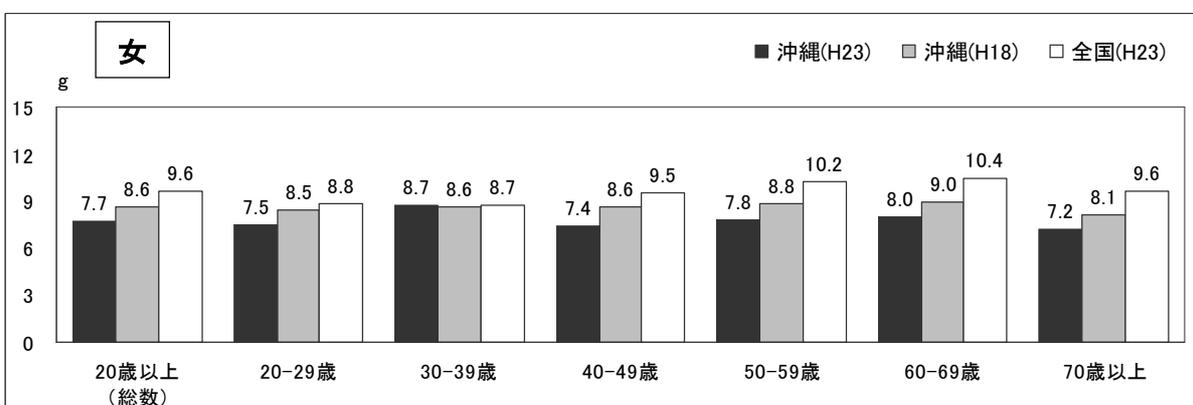
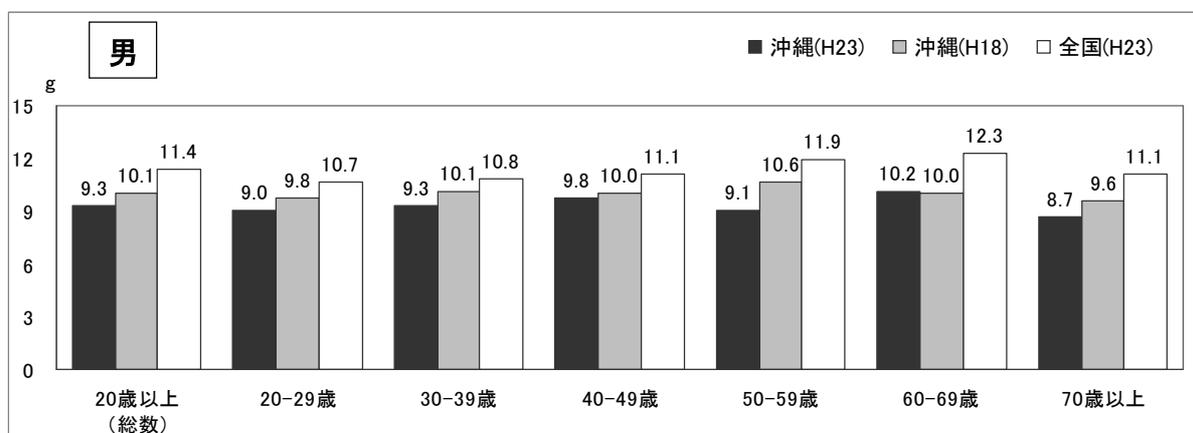
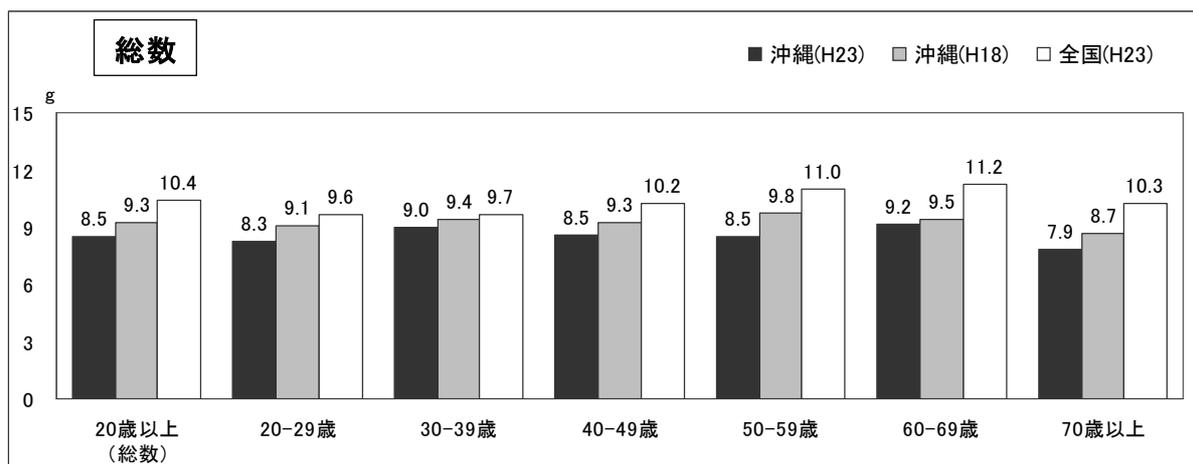
20歳以上では、平成18年度と比較すると、男性は10.1gから9.3g、女性は8.6gから7.7gとなっており、概ね全ての年代で減少し男女とも全国を大きく下回っている。

図15 食塩摂取の分布（20歳以上）



※目標摂取量は「日本人の食事摂取基準（2010年版）で定められた成人の基準（男性9g未満、女性7.5g未満）」である。

図16 性別、年齢階級別食塩摂取量（20歳以上）



＜食塩摂取量(g)＝ナトリウム(mg)×2.54 / 1,000

(参考) 日本人の食事摂取基準(2010年版)

食塩摂取の目標量 成人男性 9g未満

成人女性 7.5g未満

第4部 内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病の有病者・予備群の数

1 BMIと腹囲計測による肥満者の状況（40歳以上）

「BMI 25以上かつ腹囲85cm（90cm）以上」に該当する肥満者の割合は、男性は40～60歳代で5割近くとなっており、全国を大きく上回っている。
女性も全年齢階級で全国を上回り、60歳以降では3割を超えている。

図17 BMIと腹囲計測による肥満者の割合（40歳以上）

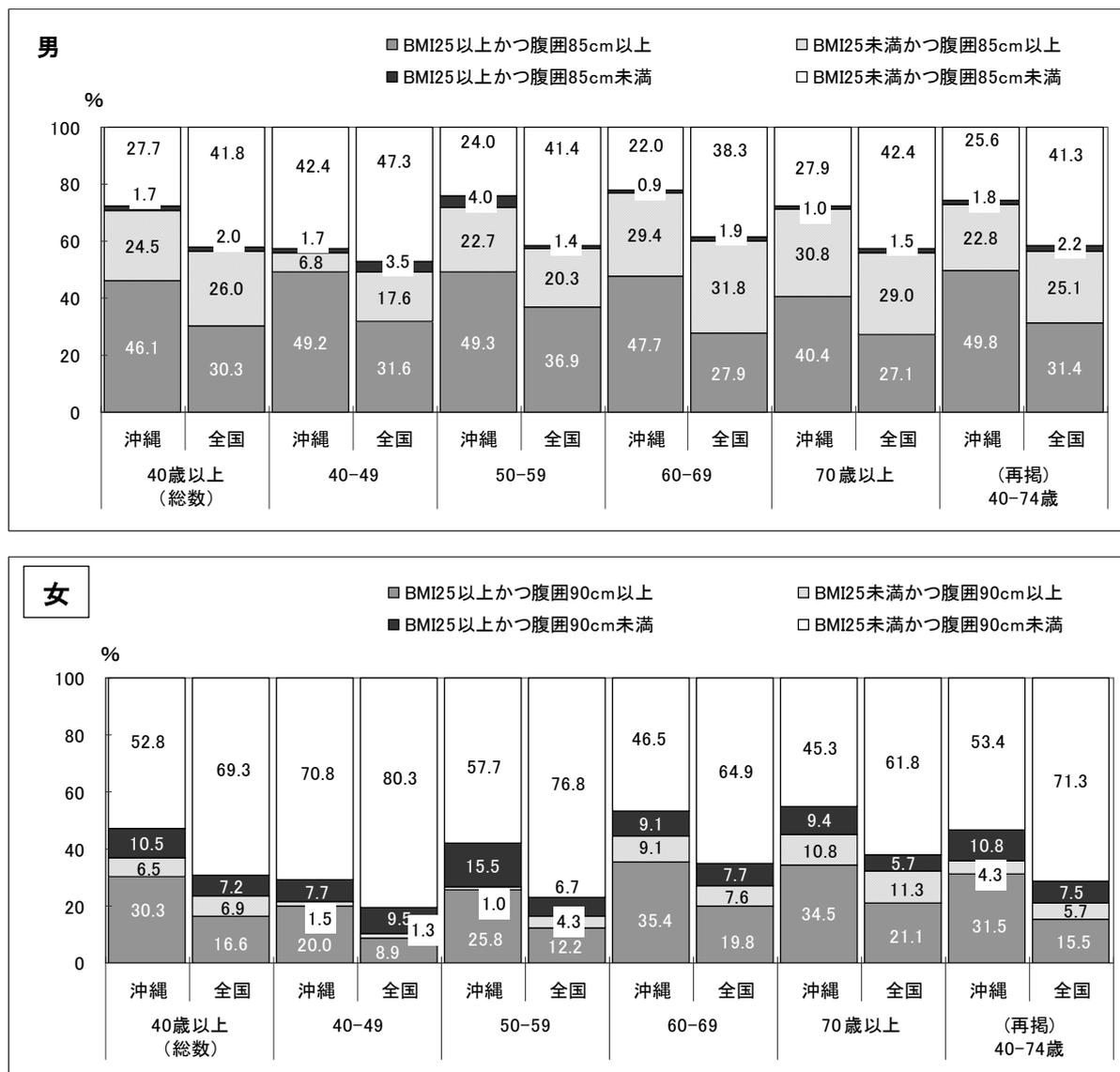


表1 BMIと腹囲計測による肥満の状況（40歳以上）

沖縄県（平成23年）		40歳以上 （総数）		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		（再掲） 40-74歳	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
総数	総数	747	100.0	124	100.0	172	100.0	208	100.0	243	100.0	590	100.0
	BMI25未満かつ腹囲85cm(90cm)未満	307	41.1	71	57.3	74	43.0	70	33.7	92	37.9	236	40.0
	BMI25以上かつ腹囲85cm(90cm)未満	48	6.4	6	4.8	18	10.5	10	4.8	14	5.8	38	6.4
	BMI25未満かつ腹囲85cm(90cm)以上	111	14.9	5	4.0	18	10.5	41	19.7	47	19.3	78	13.2
	BMI25以上かつ腹囲85cm(90cm)以上	281	37.6	42	33.9	62	36.0	87	41.8	90	37.0	238	40.3
男性	総数	347	100.0	59	100.0	75	100.0	109	100.0	104	100.0	285	100.0
	BMI25未満かつ腹囲85cm未満	96	27.7	25	42.4	18	24.0	24	22.0	29	27.9	73	25.6
	BMI25以上かつ腹囲85cm未満	6	1.7	1	1.7	3	4.0	1	0.9	1	1.0	5	1.8
	BMI25未満かつ腹囲85cm以上	85	24.5	4	6.8	17	22.7	32	29.4	32	30.8	65	22.8
	BMI25以上かつ腹囲85cm以上	160	46.1	29	49.2	37	49.3	52	47.7	42	40.4	142	49.8
女性	総数	400	100.0	65	100.0	97	100.0	99	100.0	139	100.0	305	100.0
	BMI25未満かつ腹囲90cm未満	211	52.8	46	70.8	56	57.7	46	46.5	63	45.3	163	53.4
	BMI25以上かつ腹囲90cm未満	42	10.5	5	7.7	15	15.5	9	9.1	13	9.4	33	10.8
	BMI25未満かつ腹囲90cm以上	26	6.5	1	1.5	1	1.0	9	9.1	15	10.8	13	4.3
	BMI25以上かつ腹囲90cm以上	121	30.3	13	20.0	25	25.8	35	35.4	48	34.5	96	31.5

全国（平成22年）		40歳以上 （総数）		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		（再掲） 40-74歳	
		実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
総数	総数	4534	100.0	832	100.0	967	100.0	1343	100.0	1392	100.0	3700	100.0
	BMI25未満かつ腹囲85cm(90cm)未満	2587	57.1	546	65.6	591	61.1	707	52.6	743	53.4	2139	57.8
	BMI25以上かつ腹囲85cm(90cm)未満	221	4.9	57	6.9	42	4.3	68	5.1	54	3.9	188	5.1
	BMI25未満かつ腹囲85cm(90cm)以上	698	15.4	71	8.5	110	11.4	252	18.8	265	19.0	535	14.5
	BMI25以上かつ腹囲85cm(90cm)以上	1028	22.7	158	19.0	224	23.2	316	23.5	330	23.7	838	22.6
男性	総数	2023	100.0	370	100.0	428	100.0	619	100.0	606	100.0	1667	100.0
	BMI25未満かつ腹囲85cm未満	846	41.8	175	47.3	177	41.4	237	38.3	257	42.4	689	41.3
	BMI25以上かつ腹囲85cm未満	40	2.0	13	3.5	6	1.4	12	1.9	9	1.5	36	2.2
	BMI25未満かつ腹囲85cm以上	525	26.0	65	17.6	87	20.3	197	31.8	176	29.0	419	25.1
	BMI25以上かつ腹囲85cm以上	612	30.3	117	31.6	158	36.9	173	27.9	164	27.1	523	31.4
女性	総数	2511	100.0	462	100.0	539	100.0	724	100.0	786	100.0	2033	100.0
	BMI25未満かつ腹囲90cm未満	1741	69.3	371	80.3	414	76.8	470	64.9	486	61.8	1450	71.3
	BMI25以上かつ腹囲90cm未満	181	7.2	44	9.5	36	6.7	56	7.7	45	5.7	152	7.5
	BMI25未満かつ腹囲90cm以上	173	6.9	6	1.3	23	4.3	55	7.6	89	11.3	116	5.7
	BMI25以上かつ腹囲90cm以上	416	16.6	41	8.9	66	12.2	143	19.8	166	21.1	315	15.5

2-1 メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）該当者・予備群の状況（40歳以上）

40～74歳で見ると、男性の3人に2人、女性の3人に1人がメタボリックシンドローム該当者または予備群と考えられ、男女ともに全国を上回っている。

図18 メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の状況（40歳以上）

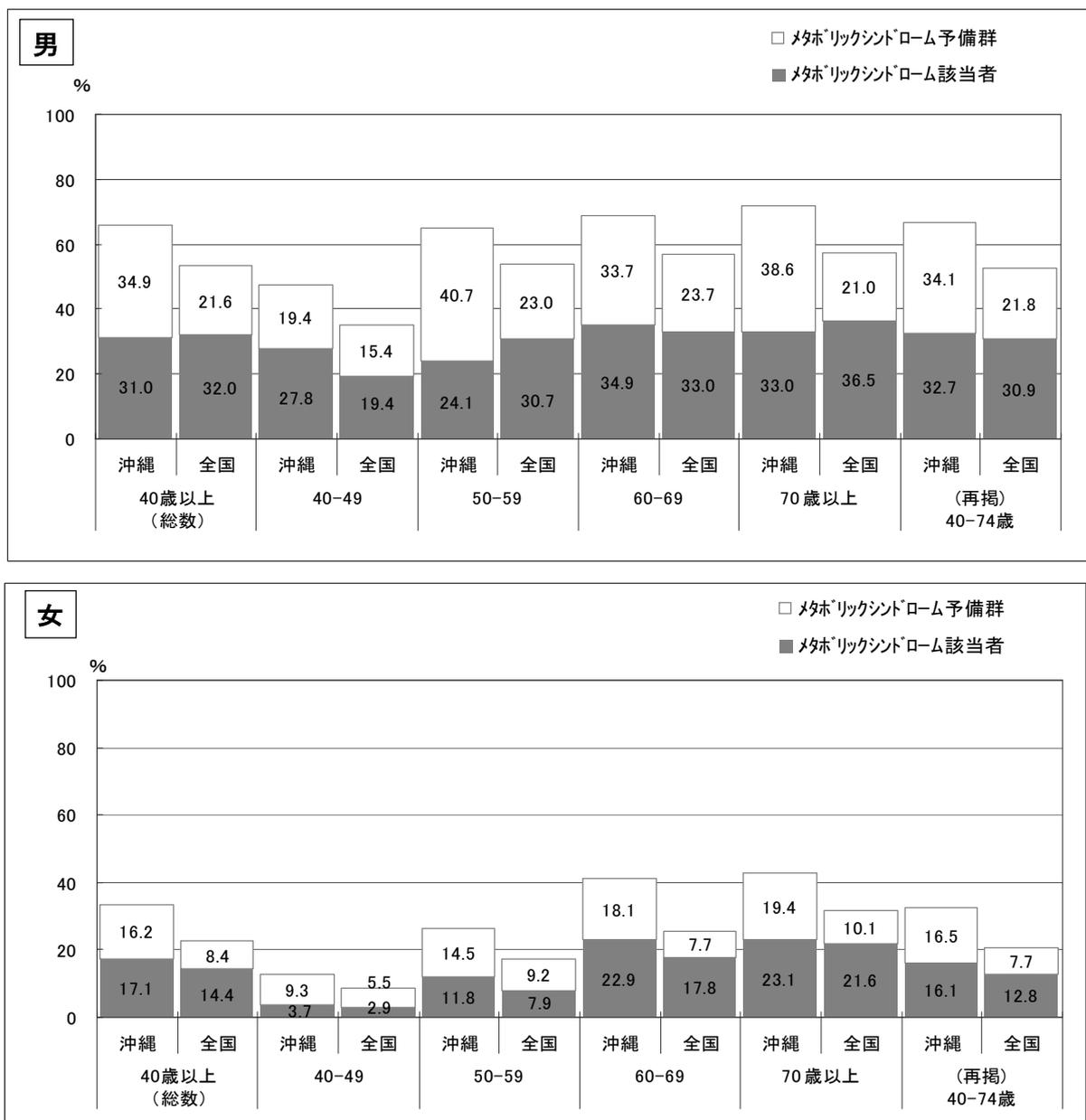


表2 メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）該当者・予備群の状況（40歳以上）

沖縄県（平成23年）		40歳以上 （総数）		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		（再掲） 40-74歳	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
総数	総数	582	100.0	90	100.0	130	100.0	166	100.0	196	100.0	457	100.0
	メタボリックシンドローム該当者	136	23.4	12	13.3	22	16.9	48	28.9	54	27.6	108	23.6
	メタボリックシンドローム予備群	143	24.6	12	13.3	33	25.4	43	25.9	55	28.1	112	24.5
	上記以外	303	52.1	66	73.3	75	57.7	75	45.2	87	44.4	237	51.9
男性	総数	261	100.0	36	100.0	54	100.0	83	100.0	88	100.0	208	100.0
	メタボリックシンドローム該当者	81	31.0	10	27.8	13	24.1	29	34.9	29	33.0	68	32.7
	メタボリックシンドローム予備群	91	34.9	7	19.4	22	40.7	28	33.7	34	38.6	71	34.1
	上記以外	89	34.1	19	52.8	19	35.2	26	31.3	25	28.4	69	33.2
女性	総数	321	100.0	54	100.0	76	100.0	83	100.0	108	100.0	249	100.0
	メタボリックシンドローム該当者	55	17.1	2	3.7	9	11.8	19	22.9	25	23.1	40	16.1
	メタボリックシンドローム予備群	52	16.2	5	9.3	11	14.5	15	18.1	21	19.4	41	16.5
	上記以外	214	66.7	47	87.0	56	73.7	49	59.0	62	57.4	168	67.5

全 国（平成22年）		40歳以上 （総数）		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		（再掲） 40-74歳	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
総数	総数	3185	100.0	483	100.0	649	100.0	1022	100.0	1031	100.0	2588	100.0
	メタボリックシンドローム該当者	696	21.9	43	8.9	110	16.9	252	24.7	291	28.2	527	20.4
	メタボリックシンドローム予備群	445	14.0	44	9.1	95	14.6	152	14.9	154	14.9	352	13.6
	上記以外	2044	64.2	396	82.0	444	68.4	618	60.5	586	56.8	1709	66.0
男性	総数	1350	100.0	175	100.0	257	100.0	460	100.0	458	100.0	1082	100.0
	メタボリックシンドローム該当者	432	32.0	34	19.4	79	30.7	152	33.0	167	36.5	334	30.9
	メタボリックシンドローム予備群	291	21.6	27	15.4	59	23.0	109	23.7	96	21.0	236	21.8
	上記以外	627	46.4	114	65.1	119	46.3	199	43.3	195	42.6	512	47.3
女性	総数	1835	100.0	308	100.0	392	100.0	562	100.0	573	100.0	1506	100.0
	メタボリックシンドローム該当者	264	14.4	9	2.9	31	7.9	100	17.8	124	21.6	193	12.8
	メタボリックシンドローム予備群	154	8.4	17	5.5	36	9.2	43	7.7	58	10.1	116	7.7
	上記以外	1417	77.2	282	91.6	325	82.9	419	74.6	391	68.2	1197	79.5

▼メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の疑いの判定▼

県民健康・栄養調査の血液検査では、空腹時採血が困難であるため、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の診断基準項目である空腹時血糖値及び中性脂肪値による判定は行わない。したがって、本報告における判定は以下の通りとした。

- ・該当者（メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）が強く疑われる者）
腹囲が男性85cm、女性90cm以上で、3つの項目（血中脂質、血圧、血糖）のうち2つ以上の項目に該当する者。
※”項目に該当する”とは、下記の「基準」を満たしている場合、かつ/または「服薬」がある場合とする。
- ・予備群（メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の予備群と考えられる者）
腹囲が男性85cm、女性90cm以上で、3つの項目（血中脂質、血圧、血糖）のうち1つに該当する者。

腹 囲（ウエスト周囲径）	男性：85cm以上 女性：90cm以上
--------------	---------------------

項目	血中脂質	血圧	血糖
基準	・HDLコレステロール値 40mg/dl未満	・収縮期血圧 130mmHg以上 ・拡張期血圧 85mmHg以上である者	・HbA1c値 5.5%以上
服薬	・コレステロールを下げる薬服用 ・中性脂肪を下げる薬服用	・血圧を下げる薬服用	・血糖を下げる薬服用 ・インスリン注射使用

（参考：厚生労働科学研究 健康科学総合研究事業「地域保健における健康診査の効率的なプロトコールに関する研究～健康対策指標検討研究班中間報告～ 平成17年8月）

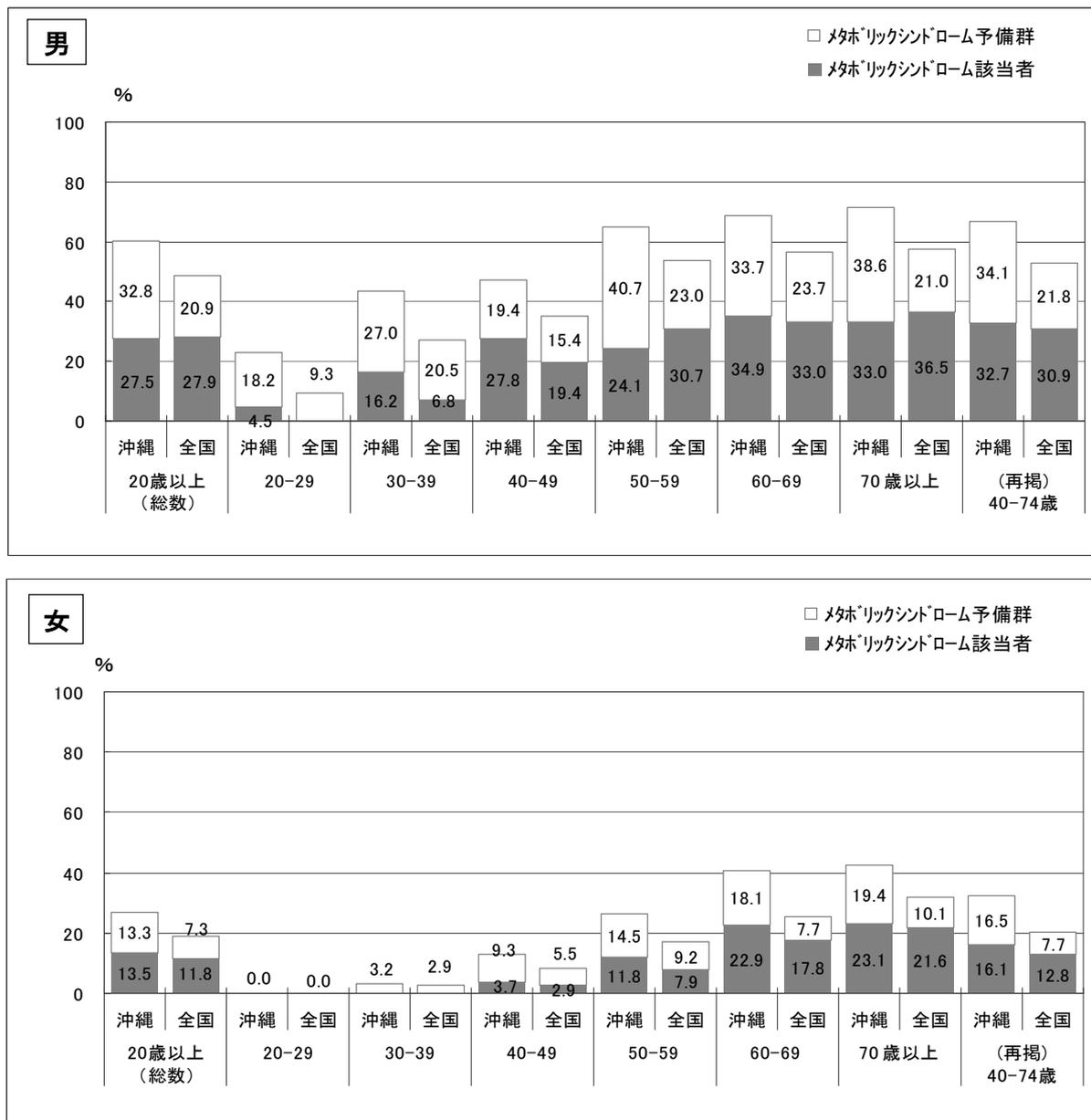
注）旧老人保健事業の健康診査では、ヘモグロビンA1c値5.5%以上を「要指導」としてため、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の疑いに関する判定項目である血糖を”ヘモグロビンA1c値5.5%”とした。

2-2 (参考) メタボリックシンドローム該当者・予備群の状況 (20歳以上)

※20歳以上の年齢区分で比較をした。

メタボリックシンドロームの予備群と考えられる者の割合が、男性20歳代で2割弱、30歳代で3割弱で全国より高くなっている。

図19 メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の状況（20歳以上）



3 糖尿病有病者・予備群の状況（40歳以上）

40～74歳で見ると、男女とも4人に1人が糖尿病有病者または予備群と考えられる。

図20 糖尿病有病者・予備群の状況（40歳以上）

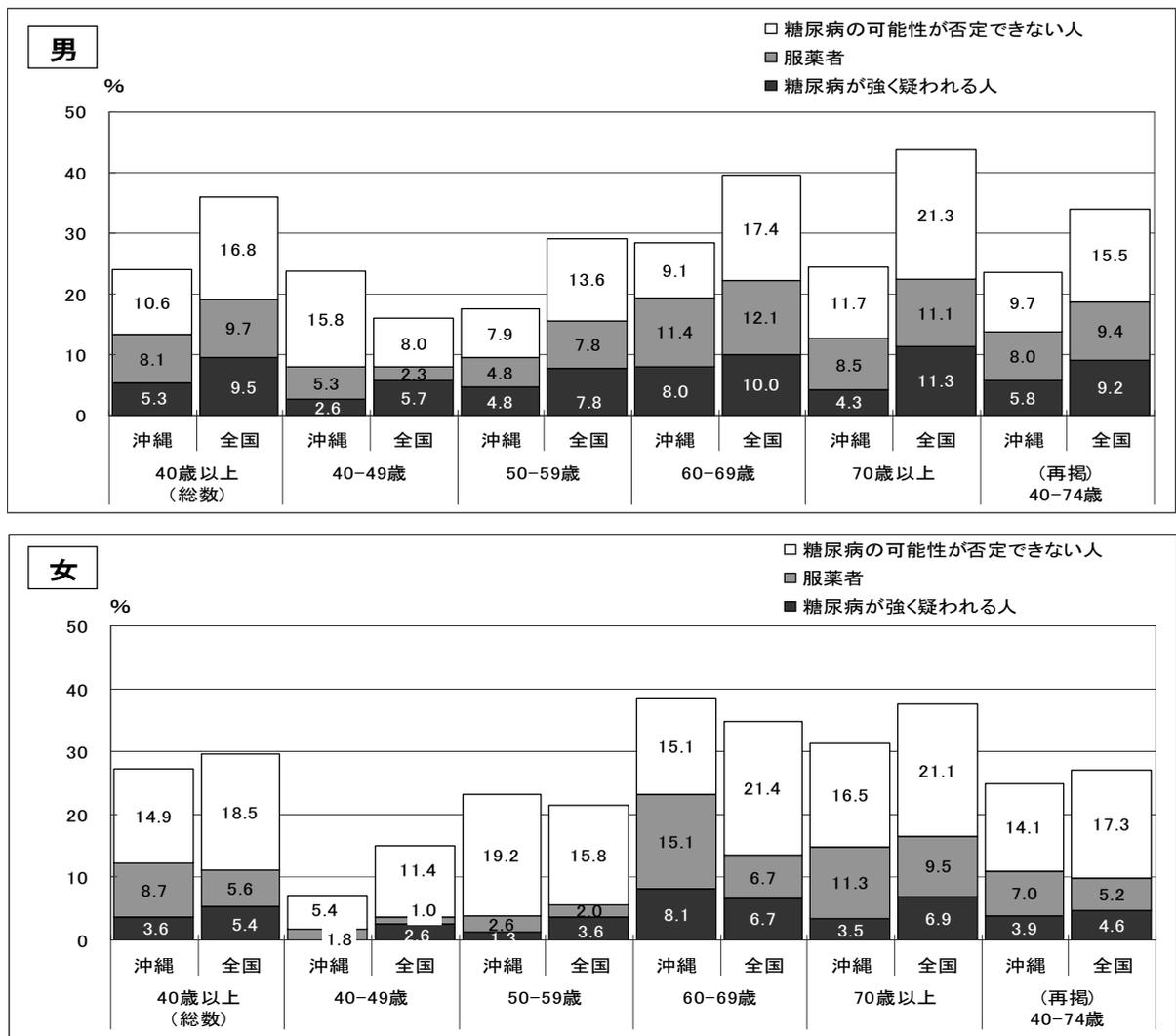


表3 糖尿病有病者・予備群の状況（40歳以上）

沖縄県（平成23年）		40歳以上 （総数）		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		（再掲） 40-74歳	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
総数	総数	618	100.0	94	100.0	141	100.0	174	100.0	209	100.0	482	100.0
	糖尿病が強く疑われる人	27	4.4	1	1.1	4	2.8	14	8.0	8	3.8	23	4.8
	服薬者*	52	8.4	3	3.2	5	3.5	23	13.2	21	10.0	36	7.5
	糖尿病の可能性が否定できない人	80	12.9	9	9.6	20	14.2	21	12.1	30	14.4	58	12.0
	上記以外	459	74.3	81	86.2	112	79.4	116	66.7	150	71.8	365	75.7
男性	総数	283	100.0	38	100.0	63	100.0	88	100.0	94	100.0	226	100.0
	糖尿病が強く疑われる人	15	5.3	1	2.6	3	4.8	7	8.0	4	4.3	13	5.8
	服薬者*	23	8.1	2	5.3	3	4.8	10	11.4	8	8.5	18	8.0
	糖尿病の可能性が否定できない人	30	10.6	6	15.8	5	7.9	8	9.1	11	11.7	22	9.7
	上記以外	215	76.0	29	76.3	52	82.5	63	71.6	71	75.5	173	76.5
女性	総数	335	100.0	56	100.0	78	100.0	86	100.0	115	100.0	256	100.0
	糖尿病が強く疑われる人	12	3.6	0	0.0	1	1.3	7	8.1	4	3.5	10	3.9
	服薬者*	29	8.7	1	1.8	2	2.6	13	15.1	13	11.3	18	7.0
	糖尿病の可能性が否定できない人	50	14.9	3	5.4	15	19.2	13	15.1	19	16.5	36	14.1
	上記以外	244	72.8	52	92.9	60	76.9	53	61.6	79	68.7	192	75.0

全国（平成22年）		40歳以上 （総数）		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		（再掲） 40-74歳	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
総数	総数	3195	100.0	483	100.0	649	100.0	1026	100.0	1037	100.0	2594	100.0
	糖尿病が強く疑われる人	228	7.1	18	3.7	34	5.2	84	8.2	92	8.9	170	6.6
	服薬者*	235	7.4	7	1.4	28	4.3	94	9.2	106	10.2	180	6.9
	糖尿病の可能性が否定できない人	567	17.7	49	10.1	97	14.9	201	19.6	220	21.2	429	16.5
	上記以外	2165	67.8	409	84.7	490	75.5	647	63.1	619	59.7	1815	70.0
男性	総数	1353	100.0	175	100.0	257	100.0	461	100.0	460	100.0	1085	100.0
	糖尿病が強く疑われる人	128	9.5	10	5.7	20	7.8	46	10.0	52	11.3	100	9.2
	服薬者*	131	9.7	4	2.3	20	7.8	56	12.1	51	11.1	102	9.4
	糖尿病の可能性が否定できない人	227	16.8	14	8.0	35	13.6	80	17.4	98	21.3	168	15.5
	上記以外	867	64.1	147	84.0	182	70.8	279	60.5	259	56.3	715	65.9
女性	総数	1842	100.0	308	100.0	392	100.0	565	100.0	577	100.0	1509	100.0
	糖尿病が強く疑われる人	100	5.4	8	2.6	14	3.6	38	6.7	40	6.9	70	4.6
	服薬者*	104	5.6	3	1.0	8	2.0	38	6.7	55	9.5	78	5.2
	糖尿病の可能性が否定できない人	340	18.5	35	11.4	62	15.8	121	21.4	122	21.1	261	17.3
	上記以外	1298	70.5	262	85.1	308	78.6	368	65.1	360	62.4	1100	72.9

* 「服薬者」とは、質問票で「インスリン注射または血糖値を下げる薬」の使用有と回答した者

▼糖尿病有病者・予備群の判定▼

県民健康・栄養調査の血液検査では、空腹時採血が困難であるため、糖尿病の診断基準項目である空腹時血糖による判定は行わない。したがって、本報告における判定は以下の通りとした。

・糖尿病有病者（糖尿病が強く疑われる人＋服薬者）

HbA1c6.1%以上の者、またはインスリン注射または血糖を下げる薬を服用している者。

※有病者のうち服薬者とは、インスリン注射又は血糖を下げる薬を服用している者とし、総数に占める比率を示した。なお、全国のデータは、HbA1c6.1%以上、または、質問票で「現在糖尿病の治療を受けている人」と答えた人。

・糖尿病予備群（糖尿病の可能性を否定できない人）

HbA1c5.5%以上6.1%未満の者。ただし、インスリン使用・血糖を下げる薬の服用者を除く。

なお、全国のデータは、HbA1c5.6%以上6.1未満で「糖尿病が強く疑われる人」以外の人。

4 高血圧症有病者・予備群の状況（40歳以上）

40～74歳でみると、男性の4人に3人、女性の5人に3人が高血圧症有病者または予備群と考えられる。

図21 高血圧症有病者・予備群の状況（40歳以上）

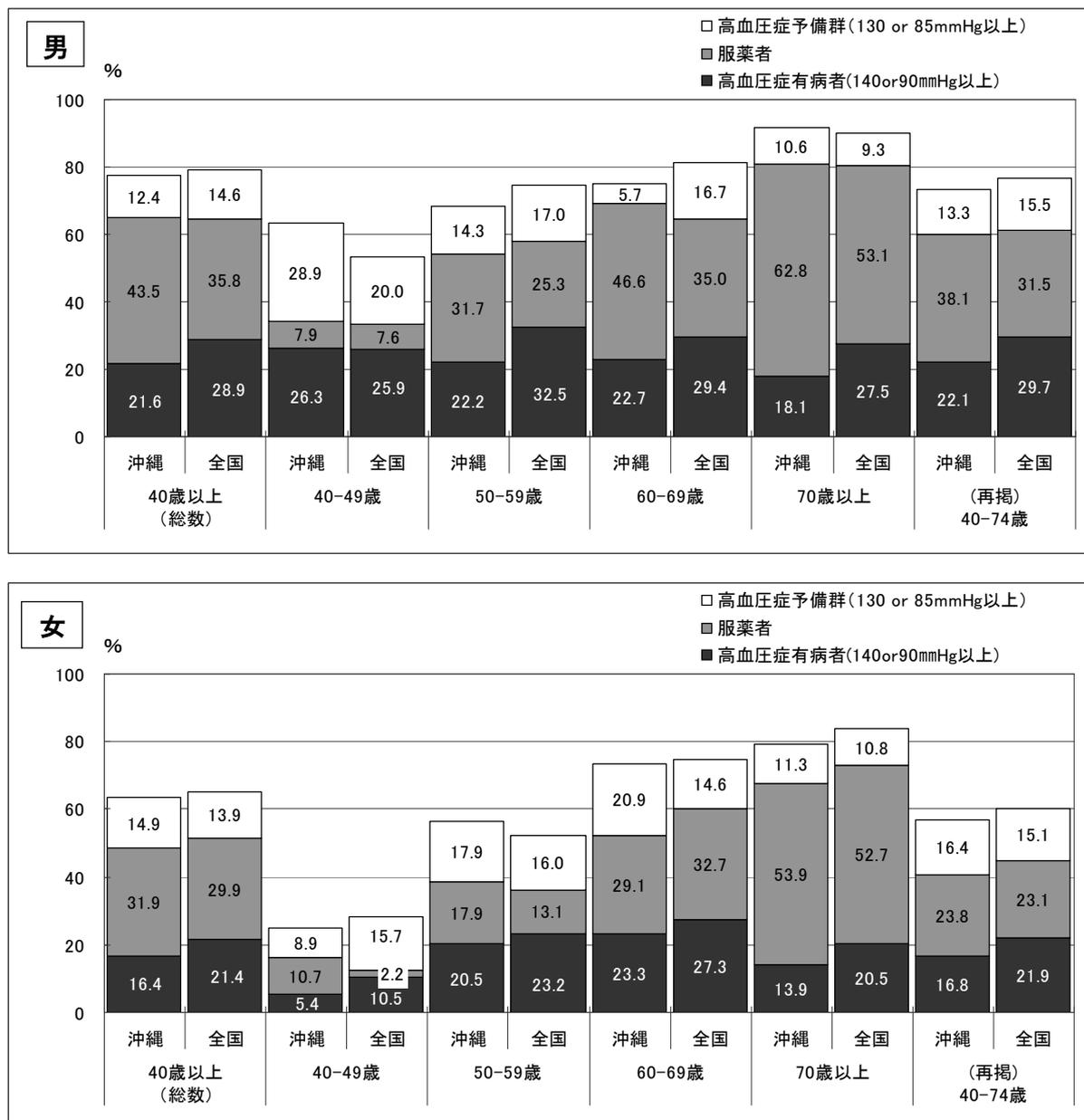


表4 高血圧有病者・予備群の状況（40歳以上）

沖縄県（平成23年）		40歳以上 （総数）		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		（再掲） 40-74歳	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
総数	総数	618	100.0	94	100.0	141	100.0	174	100.0	209	100.0	482	100.0
	高血圧症有病者	116	18.8	13	13.8	30	21.3	40	23.0	33	15.8	93	19.3
	服薬者*	230	37.2	9	9.6	34	24.1	66	37.9	121	57.9	147	30.5
	高血圧症予備群	85	13.8	16	17.0	23	16.3	23	13.2	23	11.0	72	14.9
	上記以外	187	30.3	56	59.6	54	38.3	45	25.9	32	15.3	170	35.3
男性	総数	283	100.0	38	100.0	63	100.0	88	100.0	94	100.0	226	100.0
	高血圧症有病者	61	21.6	10	26.3	14	22.2	20	22.7	17	18.1	50	22.1
	服薬者*	123	43.5	3	7.9	20	31.7	41	46.6	59	62.8	86	38.1
	高血圧症予備群	35	12.4	11	28.9	9	14.3	5	5.7	10	10.6	30	13.3
	上記以外	64	22.6	14	36.8	20	31.7	22	25.0	8	8.5	60	26.5
女性	総数	335	100.0	56	100.0	78	100.0	86	100.0	115	100.0	256	100.0
	高血圧症有病者	55	16.4	3	5.4	16	20.5	20	23.3	16	13.9	43	16.8
	服薬者*	107	31.9	6	10.7	14	17.9	25	29.1	62	53.9	61	23.8
	高血圧症予備群	50	14.9	5	8.9	14	17.9	18	20.9	13	11.3	42	16.4
	上記以外	123	36.7	42	75.0	34	43.6	23	26.7	24	20.9	110	43.0

全国（平成22年）		40歳以上 （総数）		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		（再掲） 40-74歳	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
総数	総数	3406	100.0	509	100.0	696	100.0	1076	100.0	1125	100.0	2743	100.0
	高血圧症有病者	838	24.6	82	16.1	187	26.9	304	28.3	265	23.6	690	25.2
	服薬者*	1104	32.4	21	4.1	125	18.0	363	33.7	595	52.9	731	26.6
	高血圧症予備群	483	14.2	88	17.3	114	16.4	167	15.5	114	10.1	419	15.3
	上記以外	981	28.8	318	62.5	270	38.8	242	22.5	151	13.4	903	32.9
男性	総数	1443	100.0	185	100.0	277	100.0	486	100.0	495	100.0	1152	100.0
	高血圧症有病者	417	28.9	48	25.9	90	32.5	143	29.4	136	27.5	342	29.7
	服薬者*	517	35.8	14	7.6	70	25.3	170	35.0	263	53.1	363	31.5
	高血圧症予備群	211	14.6	37	20.0	47	17.0	81	16.7	46	9.3	179	15.5
	上記以外	298	20.7	86	46.5	70	25.3	92	18.9	50	10.1	268	23.3
女性	総数	1963	100.0	324	100.0	419	100.0	590	100.0	630	100.0	1591	100.0
	高血圧症有病者	421	21.4	34	10.5	97	23.2	161	27.3	129	20.5	348	21.9
	服薬者*	587	29.9	7	2.2	55	13.1	193	32.7	332	52.7	368	23.1
	高血圧症予備群	272	13.9	51	15.7	67	16.0	86	14.6	68	10.8	240	15.1
	上記以外	683	34.8	232	71.6	200	47.7	150	25.4	101	16.0	635	39.9

* 「服薬者」とは、質問票で「血圧を下げる薬」の使用有と回答した者

▼高血圧症有病者・予備群の判定▼

・高血圧症有病者（高血圧有病者＋服薬者）

収縮期血圧140mmHg以上、または拡張期血圧90mmHg以上、または血圧を下げる薬を服用している者。

※有病者のうち服薬者とは、血圧を下げる薬を服用している者とし、総数に占める比率を示した。

・高血圧症予備群

収縮期血圧が130mmHg以上140mmHg未満、または拡張期血圧85mmHg以上90mmHg未満の者。（ただし、薬を服用していない者）

5 脂質異常者の状況（40歳以上）

40～74歳でみると、本県では、男性の4人に1人、女性の5人に1人が脂質異常者（高脂血症有病者）と考えられる。

図22 脂質異常者（高脂血症有病者）の状況（40歳以上）

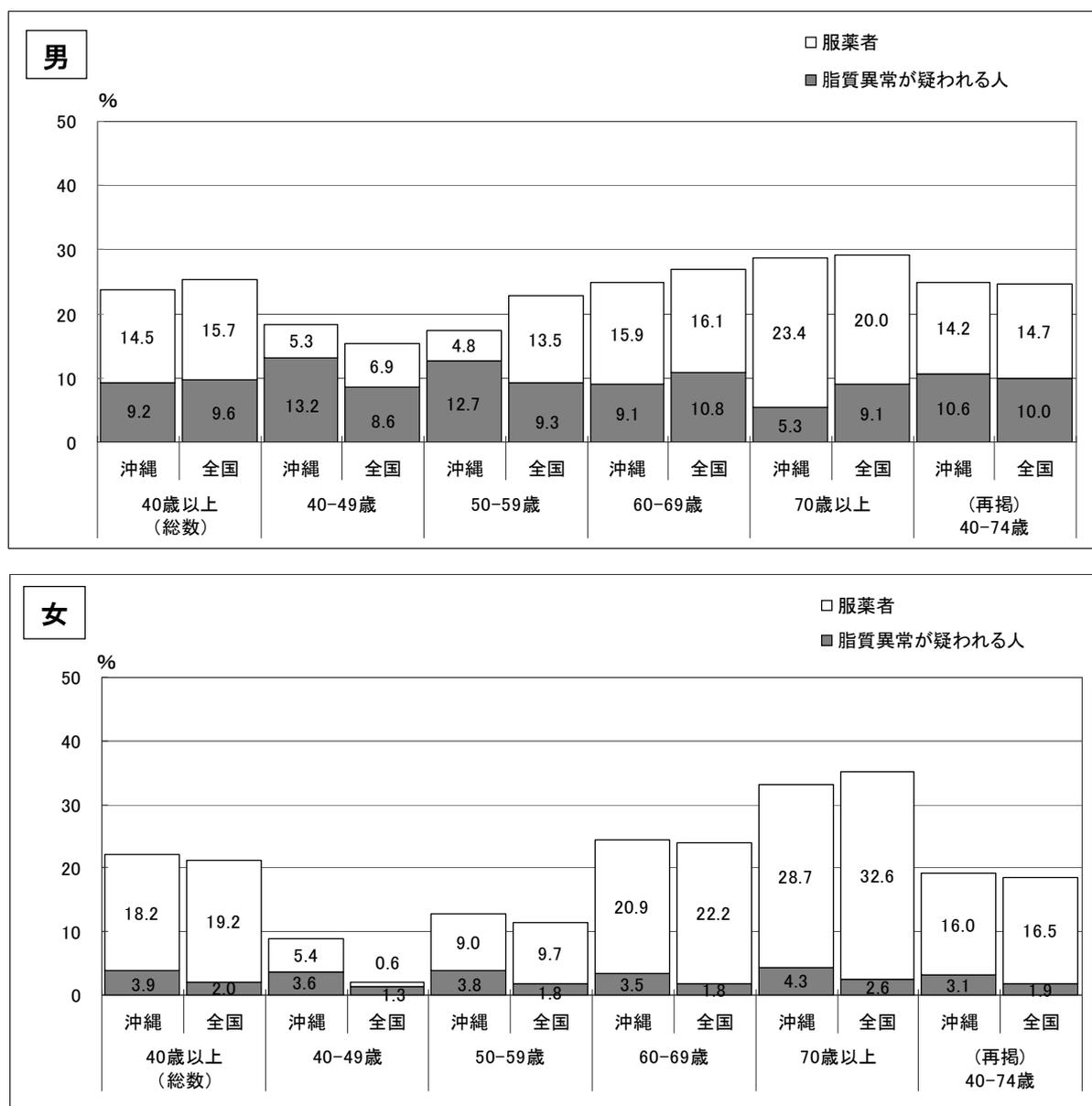


表5 脂質異常者の状況（40歳以上）

沖縄県（平成23年）		40歳以上 （総数）		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		（再掲） 40-74歳	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
総数	総数	618	100.0	94	100.0	141	100.0	174	100.0	209	100.0	482	100.0
	脂質異常症が疑われる人	39	6.3	7	7.4	11	7.8	11	6.3	10	4.8	32	6.6
	服薬者*	102	16.5	5	5.3	10	7.1	32	18.4	55	26.3	73	15.1
	上記以外	477	77.2	82	87.2	120	85.1	131	75.3	144	68.9	377	78.2
男性	総数	283	100.0	38	100.0	63	100.0	88	100.0	94	100.0	226	100.0
	脂質異常症が疑われる人	26	9.2	5	13.2	8	12.7	8	9.1	5	5.3	24	10.6
	服薬者*	41	14.5	2	5.3	3	4.8	14	15.9	22	23.4	32	14.2
	上記以外	216	76.3	31	81.6	52	82.5	66	75.0	67	71.3	170	75.2
女性	総数	335	100.0	56	100.0	78	100.0	86	100.0	115	100.0	256	100.0
	脂質異常症が疑われる人	13	3.9	2	3.6	3	3.8	3	3.5	5	4.3	8	3.1
	服薬者*	61	18.2	3	5.4	7	9.0	18	20.9	33	28.7	41	16.0
	上記以外	261	77.9	51	91.1	68	87.2	65	75.6	77	67.0	207	80.9

全 国（平成22年）		40歳以上 （総数）		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		（再掲） 40-74歳	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
総数	総数	3200	100.0	483	100.0	651	100.0	1025	100.0	1041	100.0	2597	100.0
	脂質異常症が疑われる人	167	5.2	19	3.9	31	4.8	60	5.9	57	5.5	138	5.3
	服薬者*	567	17.7	14	2.9	73	11.2	199	19.4	281	27.0	409	15.7
	上記以外	2466	77.1	450	93.2	547	84.0	766	74.7	703	67.5	2050	78.9
男性	総数	1359	100.0	175	100.0	259	100.0	461	100.0	464	100.0	1088	100.0
	脂質異常症が疑われる人	131	9.6	15	8.6	24	9.3	50	10.8	42	9.1	109	10.0
	服薬者*	214	15.7	12	6.9	35	13.5	74	16.1	93	20.0	160	14.7
	上記以外	1014	74.6	148	84.6	200	77.2	337	73.1	329	70.9	819	75.3
女性	総数	1841	100.0	308	100.0	392	100.0	564	100.0	577	100.0	1509	100.0
	脂質異常症が疑われる人	36	2.0	4	1.3	7	1.8	10	1.8	15	2.6	29	1.9
	服薬者*	353	19.2	2	0.6	38	9.7	125	22.2	188	32.6	249	16.5
	上記以外	1452	78.9	302	98.1	347	88.5	429	76.1	374	64.8	1231	81.6

* 「服薬者」とは、質問票で「コレステロールを下げる薬または中性脂肪を下げる薬」の使用有と回答した者

▼脂質異常者（高脂血症有病者）の判定▼

県民健康・栄養調査の血液検査では、空腹時採血が困難であるため、脂質異常症（高脂血症）の診断基準項目である中性脂肪値による判定は行わない。したがって、本報告における判定は以下の通りとした。

・高脂血症有病者（脂質異常が疑われる人＋服薬者）

HDLコレステロールが40mmHg/未満、若しくはコレステロールを下げる薬または中性脂肪を下げる薬を服用している者。

平成23年度
県民健康・栄養調査結果の概要
(平成22, 23年国民健康・栄養調査との比較を含む)

発行日 平成25年1月

作成者 沖縄県福祉保健部

発行者 沖縄県福祉保健部健康増進課（健康づくり班）

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号

電話 098-866-2209 FAX 098-866-2289

健康おきなわ21ホームページ <http://www.kenko-okinawa21.jp/>